

御船町 公共施設等総合管理計画

平成 29 年 3 月

熊本県 御船町

はじめに

本町においては、人口増加と社会変化により、小中学校や公営住宅などの建物、道路や上下水道のインフラ施設など公共施設等の整備が進められてきました。これらの建物及びインフラ施設の多くは、高度経済成長期に整備されたもので、建設後 30 年以上経過し耐用年数を超過した公共施設等も増え、大規模改修や修繕、建替えが必要となってきました。他方で、少子高齢化に伴う社会保障費の増加、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少等により、本町の財政状況は厳しくなっております。

また平成 28 年 4 月に発生した熊本地震では、人的被害、住家被害のほか、公共施設や道路・橋梁及び上下水道も大きな被害を受けました。生活基盤を元に戻すため、公共施設の補修や道路網の整備に取り組まなければなりません。公共施設等の復旧を進めながら、これらを維持管理していくためにかかる毎年の経費や、老朽化に伴い必要となる建替えや改修の経費は、今後の町の財政にとって、かなり大きな負担となることが予想されています。

本計画書は、これからの施設のあり方を検討する上での素材となるように取りまとめたものです。今後は、住民の皆様や議会の皆様のご意見をいただきながら、本町の施設の将来あるべき姿について、共に考えていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

平成 29 年 3 月

目 次

第1章 まちの概要

1 位置・面積	2
2 沿革	3
3 人口動向	4
4 財政状況	8
5 熊本地震の被害状況	10

第2章 公共施設等の現状と将来見通し

1 対象施設	12
2 施設の現状	13
3 将来の更新費用の見通し	19

第3章 公共施設等総合管理計画の目的等

1 公共施設等総合管理計画の目的	26
2 公共施設等総合管理計画の位置付け	27
3 公共施設等総合管理計画の計画期間	28

第4章 公共施設等の管理に関する基本方針

1 公共施設における現状と課題	30
2 公共施設等の管理に関する基本的な考え方	32
3 推進体制	36

第5章 施設類型ごとの基本方針

1 建物系公共施設	38
2 土木系公共施設	82
3 企業会計施設	84

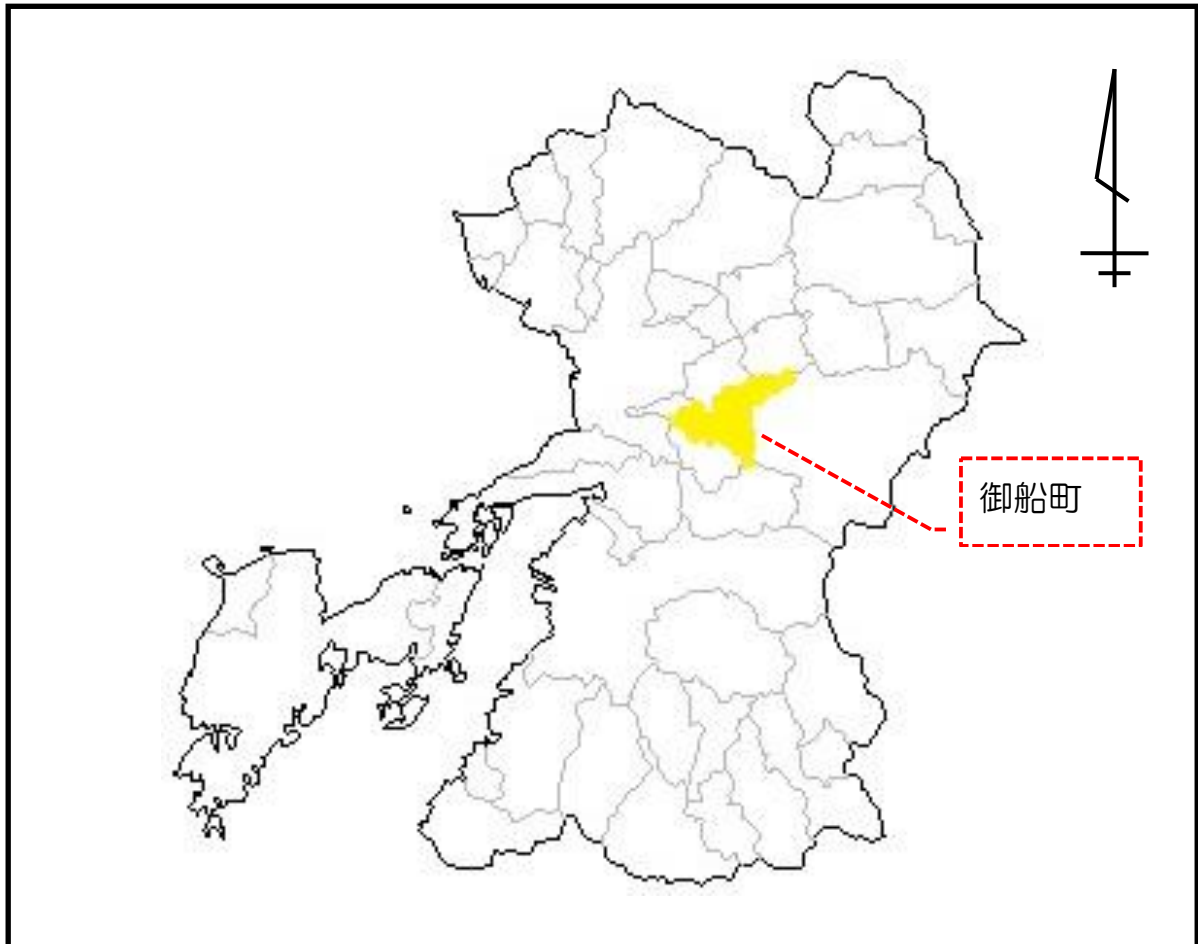
※公共施設等総合管理計画の端数処理について

計画書内において、施設の総量、更新費用等の試算結果などの数値・割合を記載していますが、端数処理により合計が一致しない場合があります。

第1章

まちの概要

1 位置・面積



御船町は、熊本県の中心都市熊本市の東南に位置しており、北緯 32 度 42 分、東経 130 度 48 分の地点に位置し、面積は、99.03 ㎢、東西への広がりとは約 20km、南北の広がりとは約 10km となっています。北は益城町、東北は阿蘇郡西原村、東は山都町、北西は嘉島町、西は熊本市、南は美里町、南西は甲佐町と隣接しています。

山間部は吉無田高原などの豊かな自然環境に恵まれ、平坦部は古くから交通の要衝として発展しました。御船層群と呼ばれる白亜紀後期の地層があり肉食恐竜の歯が日本で初めて発見され「ミフネリュウ」の愛称で親しまれています。恐竜化石産地として世界的にも注目を集めています。

2 沿革

御船町の変遷は以下のとおりです。

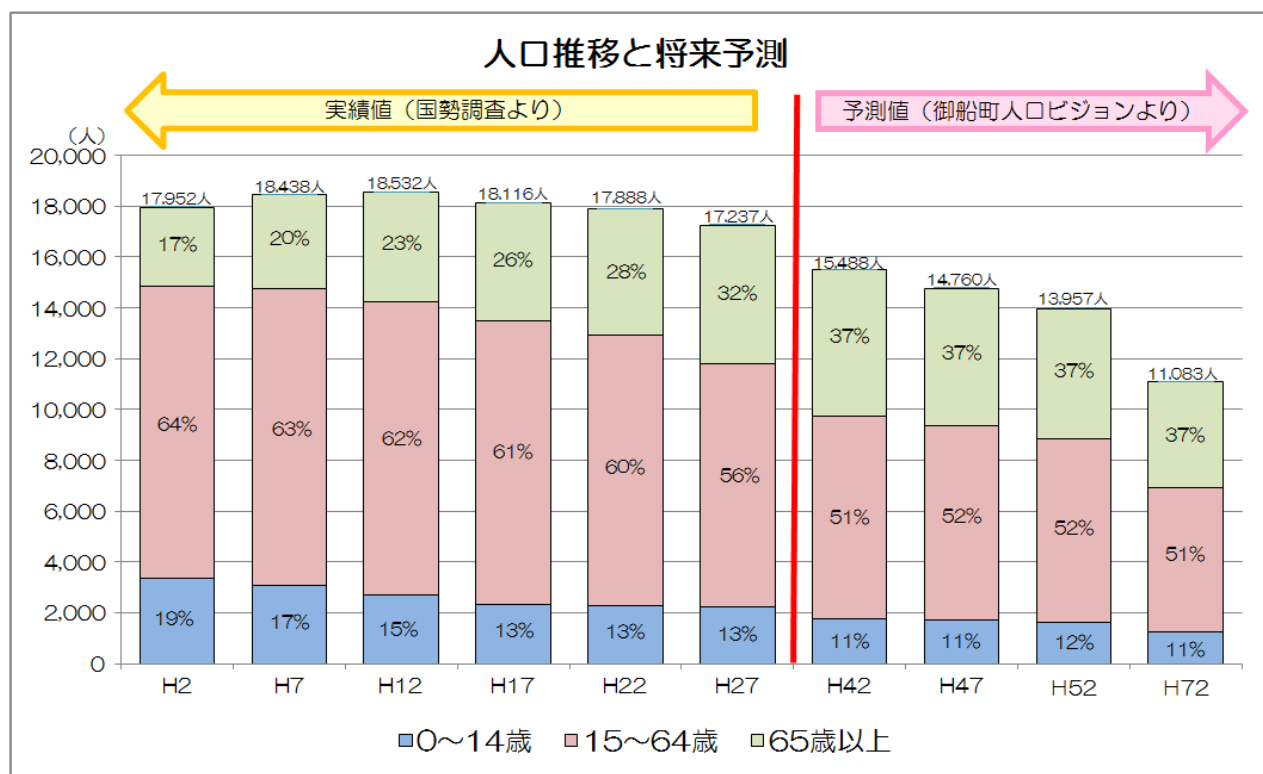
町村の変遷	終戦時	1955 年 昭和 30 年	1962 年 昭和 37 年
		御船町、滝水村、七滝村、 木倉村、高木村、豊秋村、 小坂村、陣村が合併して御 船町となる。	矢部町（現山都町）中島の 一部であった松ノ生（まつ のはえ）を編入して現在の 御船町が誕生。
	御船町	御船町	御船町
	滝水村		
	七滝村		
	木倉村		
	高木村		
	豊秋村		
	小坂村		
	陣村		
	松ノ生	松ノ生	

3 人口動向

1. 人口の動向と将来予測

御船町における人口は、平成12年をピークに、年々減少傾向にあります。

今後、総人口は減少を続け、さらなる少子高齢化が進み、全人口の約4割を65歳以上が占めるようになると推計されています。



資料：御船町人口ビジョン

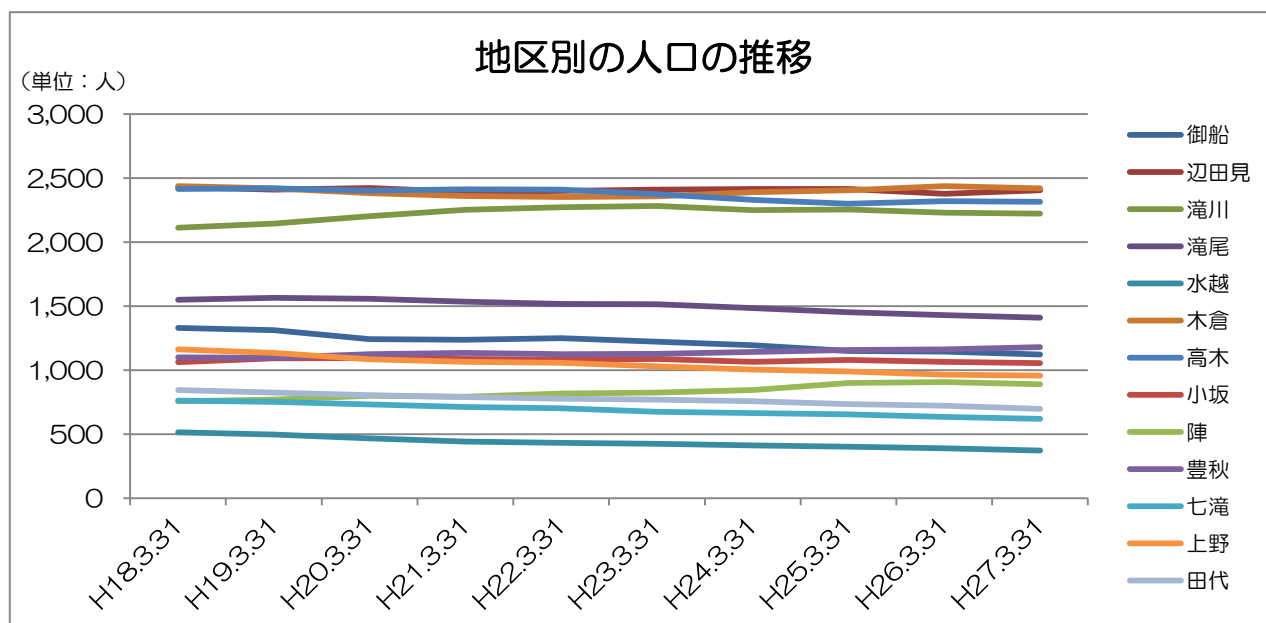
2. 地区別人口・世帯数

地区別の人口の推移

(単位：人)

地区名	H18.3.31	H19.3.31	H20.3.31	H21.3.31	H22.3.31	H23.3.31	H24.3.31	H25.3.31	H26.3.31	H27.3.31
御船	1,332	1,314	1,243	1,239	1,250	1,223	1,196	1,152	1,146	1,123
辺田見	2,432	2,411	2,424	2,394	2,402	2,410	2,417	2,415	2,379	2,406
滝川	2,113	2,146	2,203	2,254	2,274	2,284	2,250	2,256	2,230	2,224
滝尾	1,551	1,565	1,559	1,536	1,518	1,515	1,486	1,454	1,431	1,411
水越	517	499	469	444	433	426	413	403	391	373
木倉	2,438	2,422	2,384	2,360	2,354	2,359	2,392	2,406	2,438	2,420
高木	2,417	2,420	2,403	2,414	2,410	2,376	2,330	2,302	2,322	2,317
小坂	1,064	1,093	1,097	1,088	1,084	1,089	1,065	1,082	1,067	1,055
陣	759	772	801	793	819	827	847	901	909	891
豊秋	1,102	1,099	1,125	1,137	1,125	1,129	1,144	1,159	1,163	1,181
七滝	763	753	733	713	703	677	665	655	637	622
上野	1,163	1,136	1,086	1,065	1,058	1,032	1,007	990	966	959
田代	846	825	806	792	779	770	758	737	724	698
合計	18,497	18,455	18,333	18,229	18,209	18,117	17,970	17,912	17,803	17,680

資料：住民基本台帳



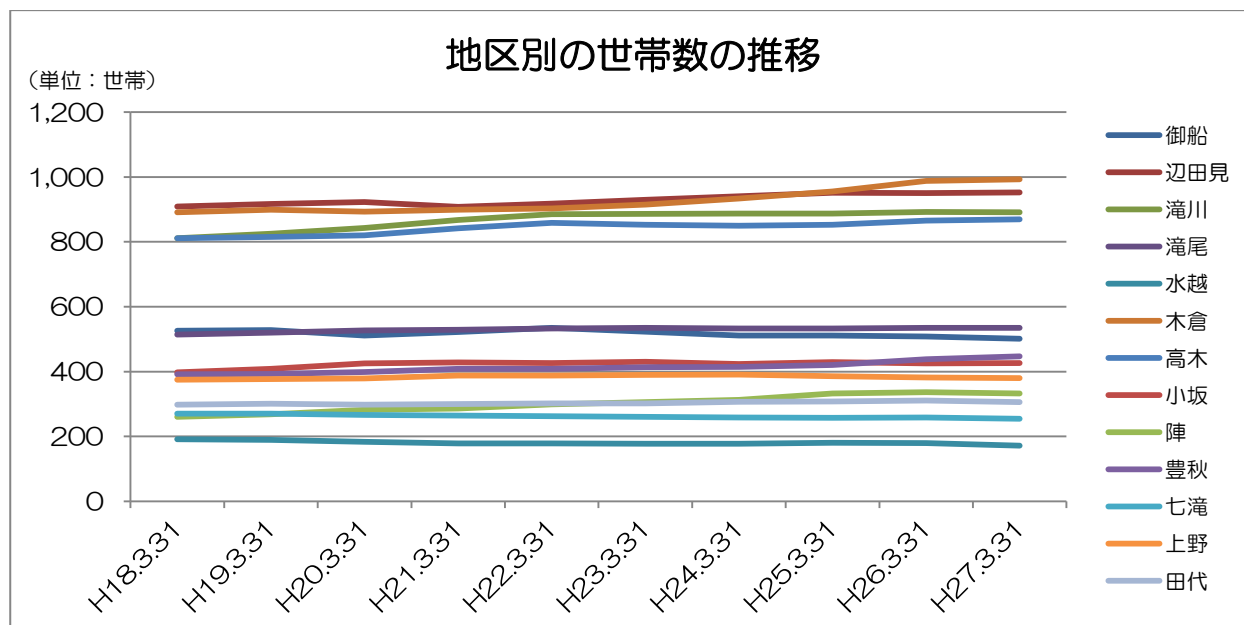
10年間の地区ごとの人口の推移をみると、多くの地区で緩やかに減少しています。

地区別の世帯数の推移

(単位：世帯)

地区名	H18.3.31	H19.3.31	H20.3.31	H21.3.31	H22.3.31	H23.3.31	H24.3.31	H25.3.31	H26.3.31	H27.3.31
御船	526	528	511	522	535	523	511	511	508	501
辺田見	909	917	923	908	918	930	941	952	951	953
滝川	811	825	843	868	885	886	887	887	892	891
滝尾	514	520	527	529	533	535	533	533	535	535
水越	191	189	183	178	178	177	177	180	179	172
木倉	891	899	893	899	903	915	934	955	988	993
高木	811	815	820	842	859	853	850	853	866	870
小坂	398	409	425	428	426	430	423	429	425	426
陣	260	268	282	286	299	306	313	332	336	332
豊秋	392	393	399	409	409	413	414	420	438	447
七滝	270	270	266	264	262	260	258	257	258	254
上野	375	377	379	388	388	390	391	386	382	380
田代	298	301	298	300	302	302	307	308	311	306
合計	6,646	6,711	6,749	6,821	6,897	6,920	6,939	7,003	7,069	7,060

資料：住民基本台帳

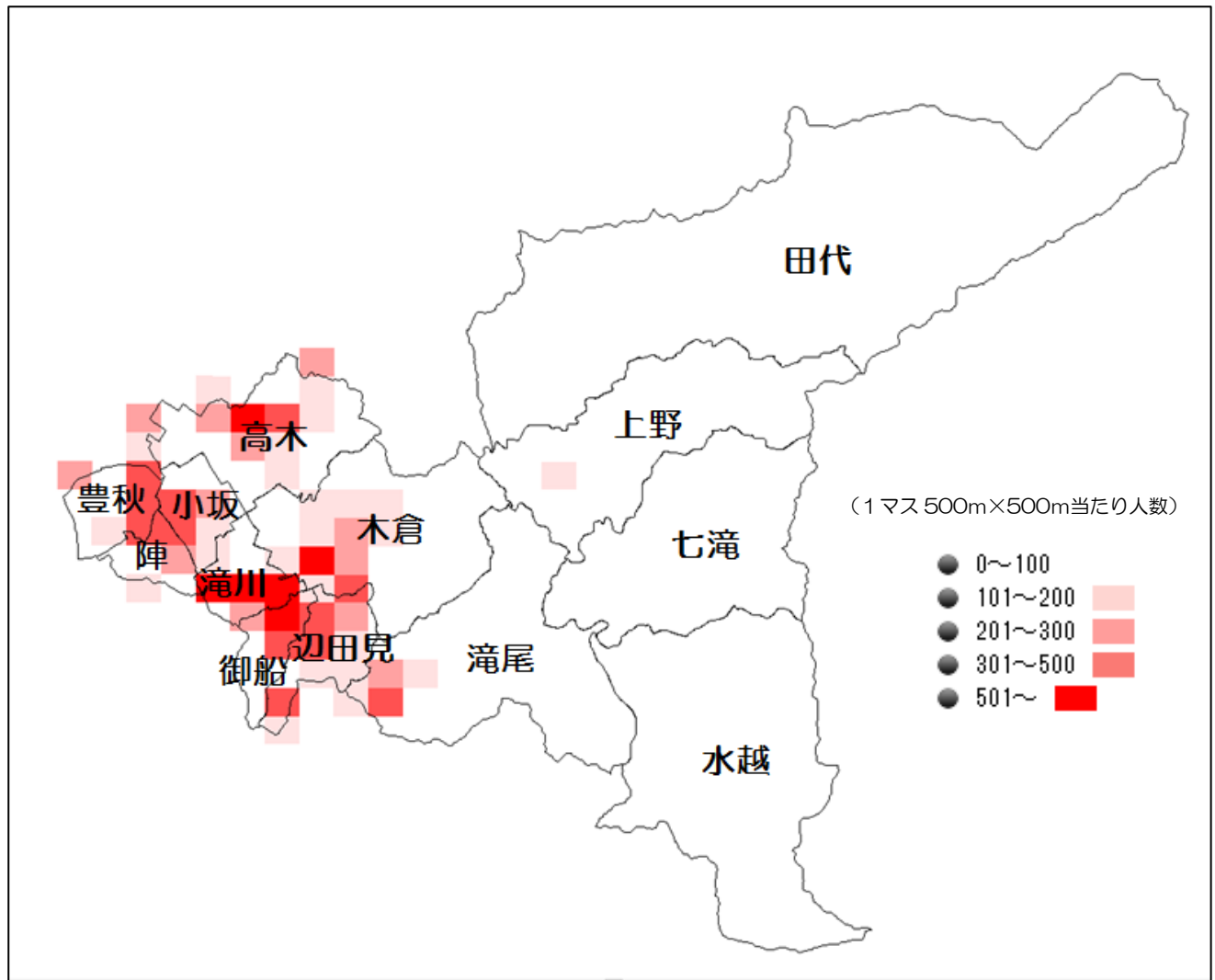


地区ごとの世帯数の推移を見ると、微増しています。人口は減少しているにも関わらず、世帯数は増加しているため、核家族化が進展していることがわかります。

3. 人口密度

下図は緯度・経度に基づき地域を隙間なく網の目（メッシュ）の区域に分けて、それぞれの区域に関する人口データを反映させたものです。

町の西側に人口が集中していることがわかります。



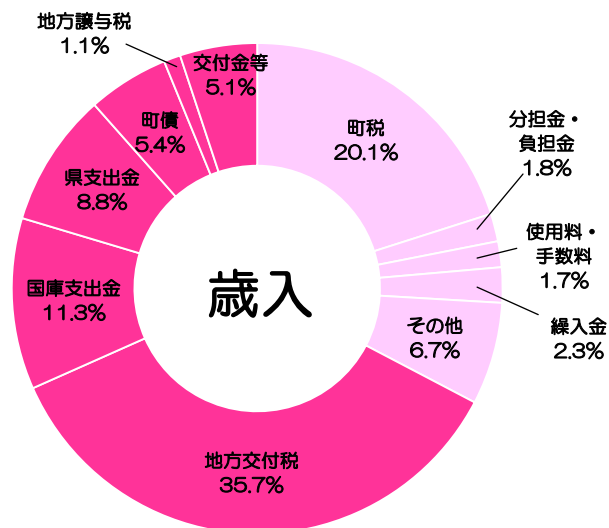
資料：総務省統計局
国勢調査をもとにした人口メッシュ分布

4 財政状況

1. 平成 27 年度決算額

【歳入】 単位：千円

自主財源	町 税	1,455,190
	分担金・負担金	132,630
	使用料・手数料	123,290
	繰 入 金	168,130
	そ の 他	488,660
依存財源	地 方 交 付 税	2,584,590
	国 庫 支 出 金	817,850
	県 支 出 金	639,590
	町 債	387,880
	地 方 譲 与 税	80,050
	交 付 金 等	368,380
合 計		7,246,240

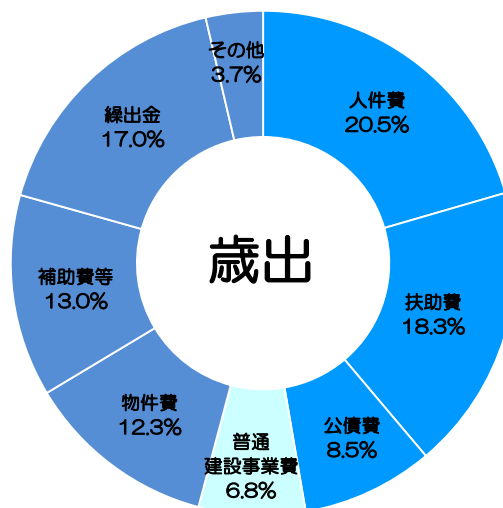


■ 依存財源 67.3% ■ 自主財源 32.7%

平成 27 年度決算における、御船町の財政状況をみると、約 72 億円の収入のうち、地方交付税、町税、国庫支出金、県支出金の合計で約 7 割を占めています。

【歳出】 単位：千円

人 件 費	1,399,110
扶 助 費	1,250,410
公 債 費	576,940
普 通 建 設 事 業 費	466,190
物 件 費	837,230
補 助 費 等	884,100
繰 出 金	1,158,360
そ の 他	249,850
合 計	6,822,190

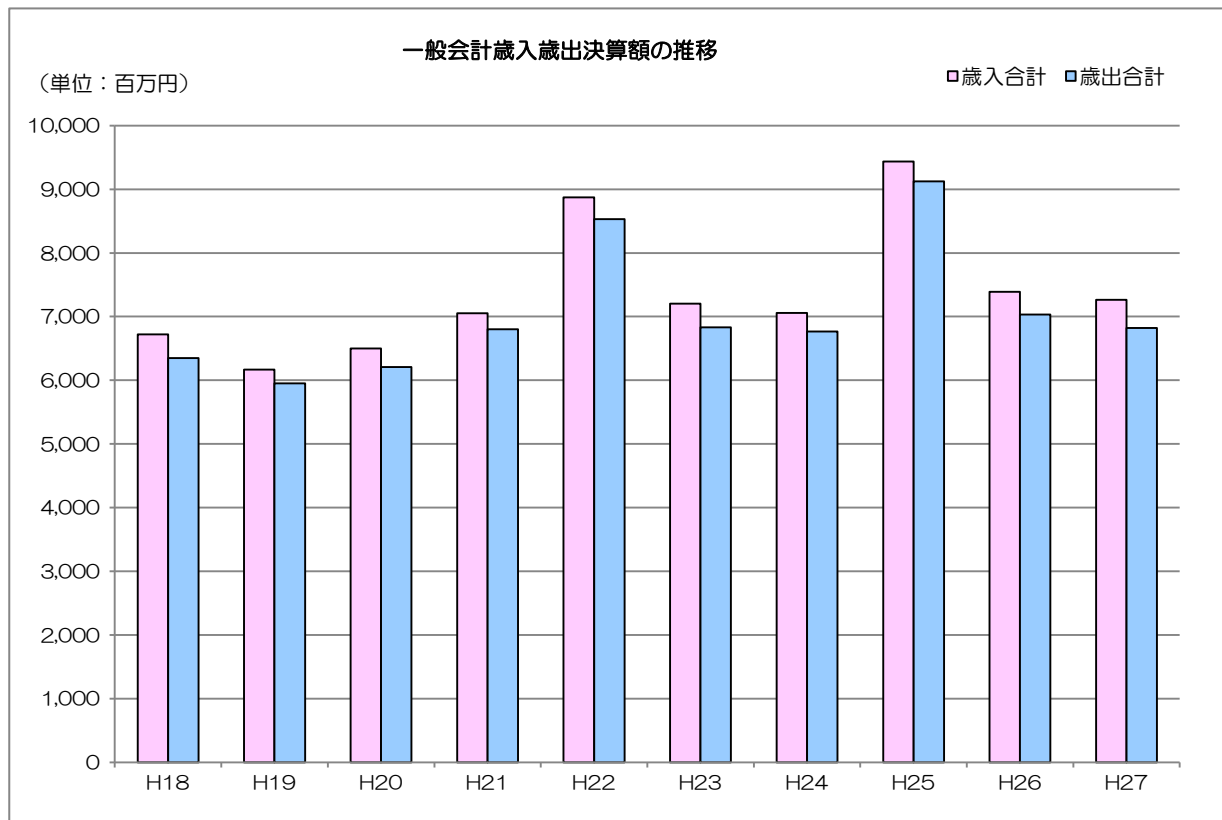


■ 義務的経費 47.3% ■ 投資的経費 6.8%
■ その他の経費 45.9%

歳出における内訳をみると、人件費、扶助費、繰出金等で、大きな割合を占めています。

2. 財政状況の傾向

過去 10 年分の歳入と歳出の推移をグラフにしています。平成 22、25 年度に一時的に歳入歳出決算額は増加していますが、70 億円前後で推移しています。



5 熊本地震の被害状況

御船町は、平成 28 年（2016 年）4 月 14 日、16 日に発生した熊本地震で、震度 5 強と震度 6 弱の地震に見舞われ、死者や重軽傷者の人的被害が出たほか、家屋の倒壊、土砂崩れや道路の崩落、ガス漏れや水道管の破裂等が起こり、未曾有の被害を受けました。2 度の地震は、前震（4 月 14 日発生）が日奈久断層帯、本震（4 月 16 日発生）が布田川断層帯の活動によるものと考えられています。本町においては、地震発生直後から災害対策本部を立ち上げ、上下水道等のライフライン、道路や橋梁の復旧等を進めてきました。今後は町民の生活再建を進めながら、建物や道路等のインフラ、地域コミュニティを元の姿に戻し、震災前よりもさらに発展した御船町になるよう復興に取り組めます。

●平成 28 年熊本地震による御船町の被害（平成 28 年 6 月 1 日時点）

農業関係	田・畑のあぜ崩落、農業用道路の破損等	約 12 億 1,021 万円
土木施設等	町営住宅、道路、橋梁等の被害	約 29 億 7,240 万円
集会施設等	公民館の被害等	約 1,522 万円
学校等	敷地内のがけ崩れ、校舎の破損等	約 5 億 8,550 万円
保育園・幼稚園等	園舎の破損や敷地内の亀裂等	約 6 億 1,237 万 7 千円
上下水道施設等	配水施設と給配水管の損傷、下水道管の破裂等	約 4 億 8,000 万円
社会教育・体育・文化施設	スポーツセンター損壊、八勢目鑑橋、下鶴眼鏡橋の破損等	約 6 億 2,590 万円
観光施設等	街なかギャラリー、緑の村キャンプ場の被害等	約 1,544 万 8 千円
合計		約 65 億 1,705 万 5 千円

第2章

公共施設等の現状と将来見通し

1 対象施設

本計画では町が所有するすべての施設を対象とし、建物系公共施設（ハコモノ）、土木系公共施設（インフラ）、企業会計施設の3つの類型に区分します。

建物系公共施設		土木系公共施設	
分類	主な施設	分類	主な施設
学校教育系施設	小学校、中学校	道路	1 級町道、2 級町道、その他町道
町民文化系施設	公民館	橋梁	PC 橋、RC 橋、鋼橋、石橋
社会教育系施設	社会教育センター、恐竜博物館	企業会計施設	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツセンター、運動公園	分類	主な施設
子育て支援施設	保育園、学童保育	上水道	水道施設
保健・福祉施設	保健センター、老人憩の家	下水道	下水道施設
行政系施設	役場	緑の村	吉無田高原緑の村
公営住宅	町営住宅		
公園	公園		

2 施設の現状

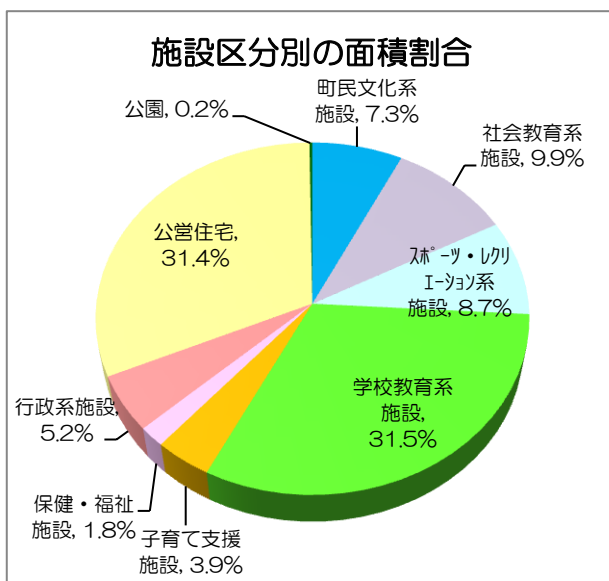
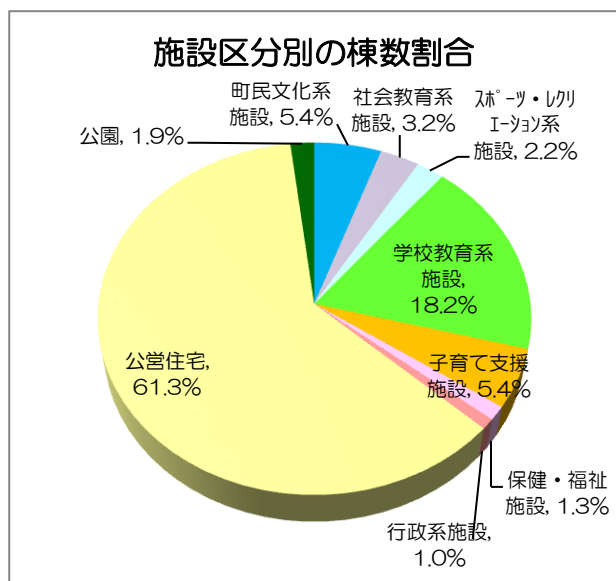
1. 建物系公共施設

①施設の数量

施設区分ごとの棟数及び延床面積は以下のとおりです。

連番	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	棟数	延床面積(m ²)
1	町民文化系施設	集会施設	11	4,743.47
2	町民文化系施設	文化施設	6	838.99
3	社会教育系施設	博物館等	10	7,559.40
4	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	5	6,340.40
5	スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	2	342.61
6	学校教育系施設	学校	57	24,094.14
7	子育て支援施設	幼保・こども園	12	2,474.31
8	子育て支援施設	幼児・児童施設	5	537.66
9	保健・福祉施設	高齢福祉施設	3	777.00
10	保健・福祉施設	保健施設	1	620.68
11	行政系施設	庁舎等	3	3,937.56
12	公営住宅	公営住宅	192	23,973.38
13	公園	公園	6	175.02
合計			313	76,414.62

連番	施設区分(大分類)	棟数	延床面積(m ²)	棟数割合	面積割合
1	町民文化系施設	17	5,582.46	5.4%	7.3%
2	社会教育系施設	10	7,559.40	3.2%	9.9%
3	スポーツ・レクリエーション系施設	7	6,683.01	2.2%	8.7%
4	学校教育系施設	57	24,094.14	18.2%	31.5%
5	子育て支援施設	17	3,011.97	5.4%	3.9%
6	保健・福祉施設	4	1,397.68	1.3%	1.8%
7	行政系施設	3	3,937.56	1.0%	5.2%
8	公営住宅	192	23,973.38	61.3%	31.4%
9	公園	6	175.02	1.9%	0.2%
合計		313	76,414.62	100.0%	100.0%

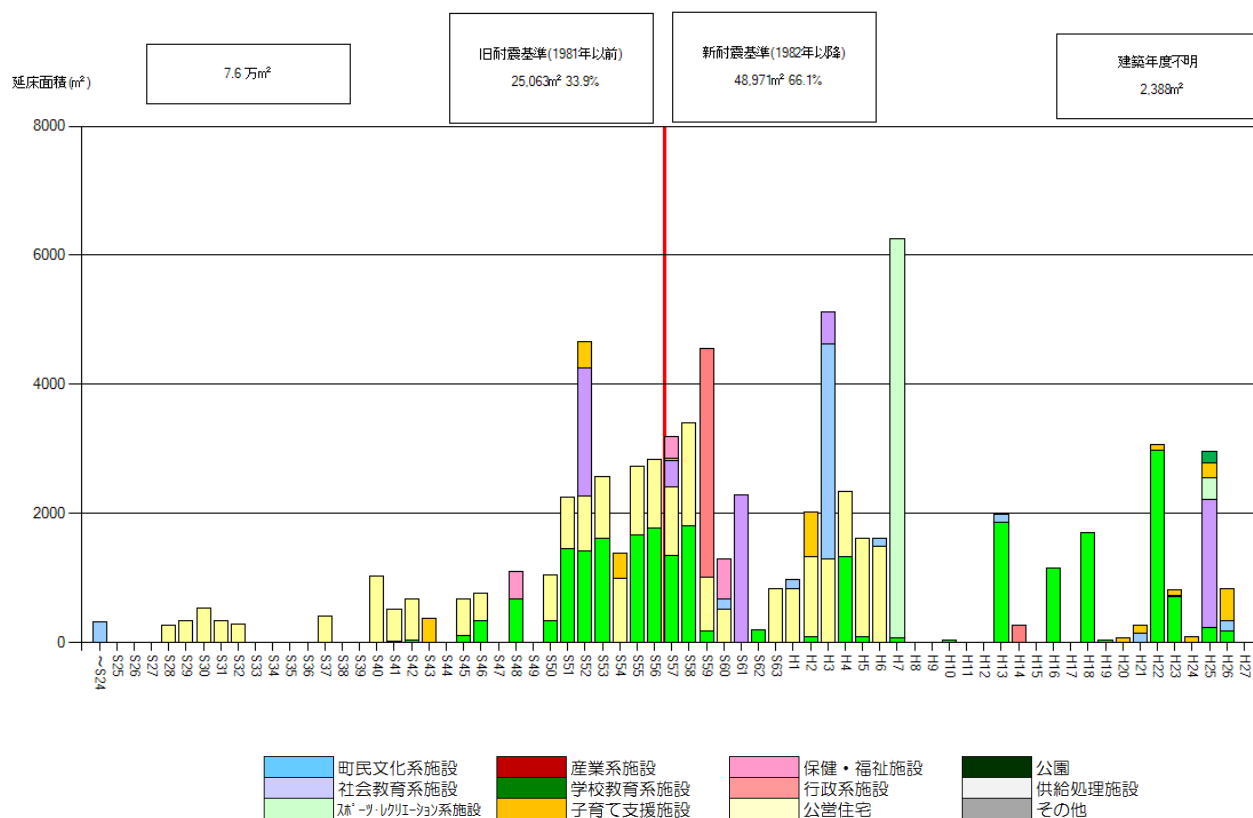


御船町における施設のうち、棟数でみると、公営住宅で約61%を占めています。また、延床面積でみると、学校教育系施設（約32%）、公営住宅（31%）となっており、この2分類で約63%を占めています。

②築年別整備状況

御船町においては、学校教育系施設及び公営住宅を中心に公共施設を整備してきており、昭和51年（1976年）から平成7年（1995年）にかけて、多くの建物を建築してきました。

昭和56年（1981年）の新耐震化基準以前に建築された施設は、全体の33.9%を占めています。なお、建築後30年を超える施設は、一般的に大規模改修が必要と言われており、施設の老朽化が懸念されます。



2. 土木系公共施設

①道路

●施設の数量

区分	道路部面積 (㎡)	実延長 (m)
道路	1,225,669.00	254,005.00

②橋梁

●施設の数量

区分	種別	橋梁面積 (㎡)	橋梁数 (箇所)
橋梁	P C橋	5206.55	27
	R C橋	4973.44	86
	鋼橋	574.28	7
	石橋	174.78	5
	その他	47.72	2
	合 計	10,976.77	127

3. 企業会計施設

●施設の数量

上水道

水道事業（法適用企業）

供用開始年月日	S44 年 7 月
導水管延長	9.02 千m
送水管延長	16.80 千m
配水管延長	170.67 千m
浄水場施設数	14 箇所
配水池等施設数	49 箇所

下水道

公共下水道事業（法非適用企業）

供用開始年月日			H6 年 3 月
普及状況	全体計画人口		9,605 人
	現在排水区域内人口		8,219 人
	現在処理区域内人口		8,219 人
	現在水洗便所設置済人口		6,642 人
	全体計画面積		340 ha
	現在排水区域面積		271 ha
	現在処理区域面積		271 ha
管渠	下水管布設延長		72 km
	種別	污水管	61 km
		雨水管	11 km
		合流管	— km

その他

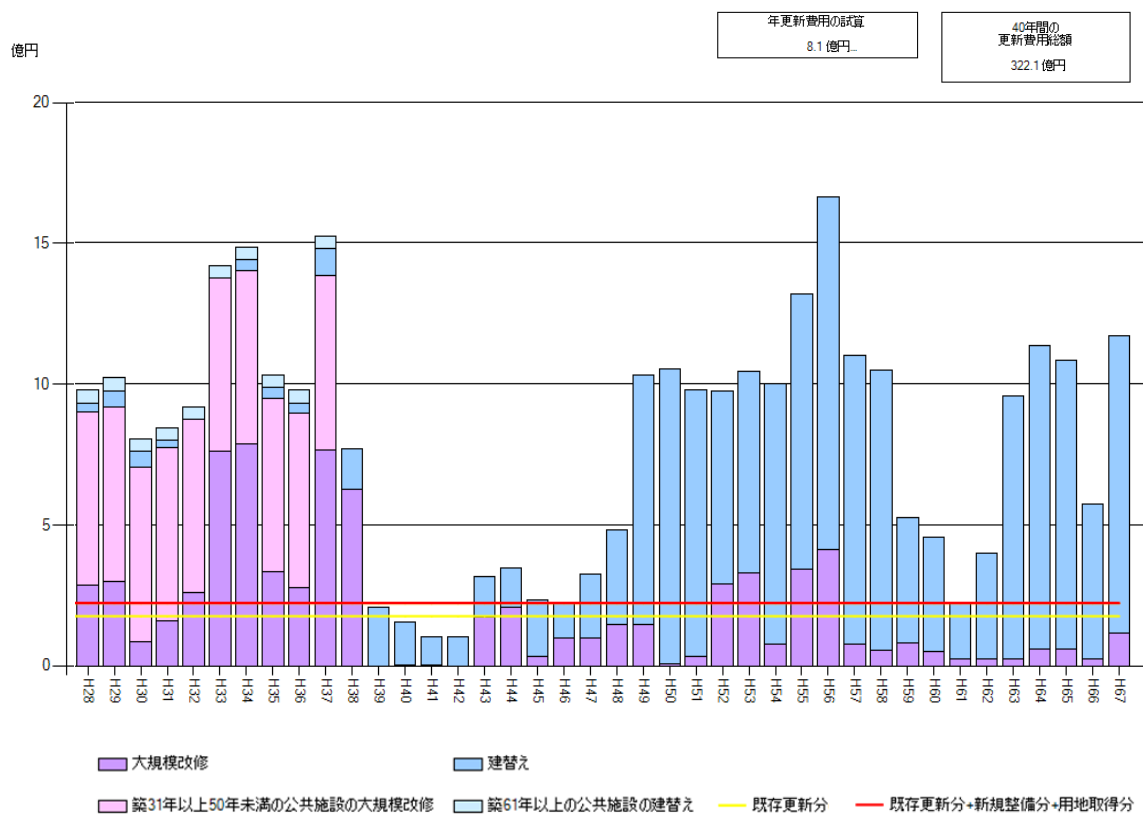
緑の村運営事業（法非適用企業）

連番	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数
1	吉無田高原緑の村	炊飯棟	18.00	昭和 56	35
2	吉無田高原緑の村	活用センター	339.00	昭和 56	35
3	吉無田高原緑の村	倉庫	12.00	昭和 56	35
4	吉無田高原緑の村	便所	45.00	昭和 56	35
5	吉無田高原緑の村	身障者便所	48.00	平成 13	15
6	吉無田高原緑の村	バンガロー 1	11.04	昭和 56	35
7	吉無田高原緑の村	バンガロー 2	11.04	昭和 56	35
8	吉無田高原緑の村	バンガロー 3	11.04	昭和 56	35
9	吉無田高原緑の村	バンガロー 4	11.04	昭和 56	35
10	吉無田高原緑の村	バンガロー 5	11.04	昭和 56	35
11	吉無田高原緑の村	バンガロー 6	11.04	昭和 56	35
12	吉無田高原緑の村	バンガロー 7	11.04	昭和 56	35
13	吉無田高原緑の村	バンガロー 8	11.04	昭和 56	35
14	吉無田高原緑の村	バンガロー 9	11.04	昭和 56	35
15	吉無田高原緑の村	バンガロー 10	11.04	昭和 56	35
16	吉無田高原緑の村	料金徴収所	17.64	不明	-
17	吉無田高原緑の村	運動場横便所	10.58	不明	-
合計			600.62		

3 将来の更新費用の見通し

1. 建物系公共施設の更新費用の試算結果

本町が所有する公共施設について、すべて大規模改修を実施し、現状規模のまま建替えを行った場合、今後40年間で322.1億円（年平均8.1億円）かかることが分かりました。平成27年度の建物系公共施設にかかる投資的経費は約2.2億円であり、5.9億円ほど不足している状況です。

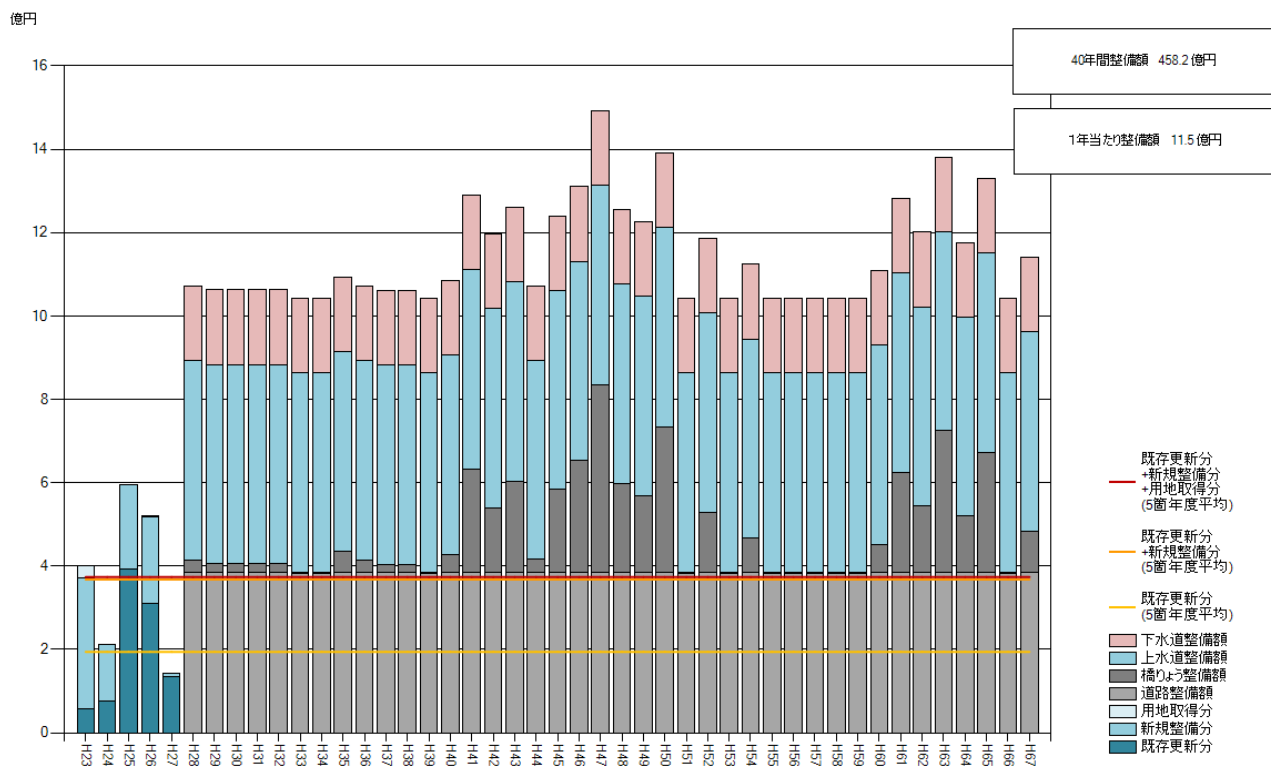


※総務省 公共施設等更新費用試算ソフト Ver.2.10 より算定

今後40年間の更新費用総額	322.1億円
1年平均更新費用	8.1億円
建物系公共施設にかかる投資的経費（平成27年度）	2.2億円

2. インフラ資産（土木系公共施設及び上下水道施設）の更新費用の試算結果

インフラ資産（土木系公共施設及び上下水道施設）の将来の更新費用を試算した結果、現状規模のまま更新を行った場合、今後40年間で458.2億円（年平均11.5億円）かかることが分かりました。直近5年（平成23年度から平成27年度）平均のインフラ資産（土木系公共施設及び上下水道施設）にかかる投資的経費は約3.7億円であり、7.8億円ほど不足している状況です。



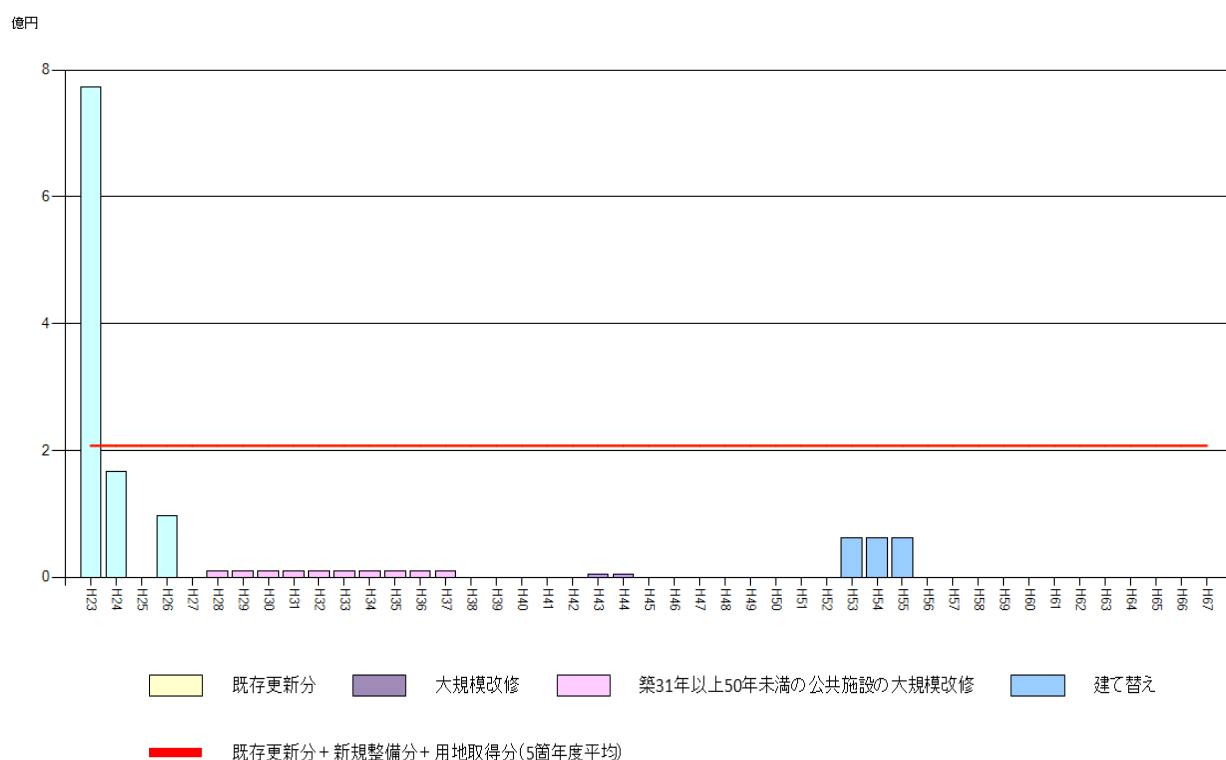
※総務省 公共施設等更新費用試算ソフト Ver. 2.10 より算定

今後 40 年間の更新費用総額	458.2 億円
1 年平均更新費用	11.5 億円
インフラ資産にかかる投資的経費 (平成 23 年度から平成 27 年度平均)	3.7 億円

3. 企業会計施設の更新費用の試算結果

緑の村運営事業会計関連施設

緑の村運営事業会計関連施設の将来の更新費用を試算した結果、現状規模のまま更新を行った場合、今後40年間で3.0億円（年平均0.1億円）かかることが分かりました。直近5年（平成23年度から平成27年度）平均の緑の村運営事業会計関連施設にかかる投資的経費をみると年平均約2.1億円となっています。今後も計画的な維持管理を行うことが重要です。



※総務省 公共施設等更新費用試算ソフト Ver. 2.10 より算定

今後 40 年間の更新費用総額	3.0 億円
1 年平均更新費用	0.1 億円
緑の村運営事業にかかる投資的経費 (平成 23 年度から平成 27 年度平均)	2.1 億円

4. 公共施設等更新費用試算ソフト（総務省）の更新費用シミュレーション条件

●更新費用の推計額

一般財源負担見込み額を把握することが困難であるため、事業費ベースでの計算とします。

●計算方法

耐用年数経過後に現在と同じ延床面積等で更新すると仮定して計算します。

延床面積×更新単価

●更新単価

すでに更新費用の試算に取り組んでいる地方公共団体の調査実績、設定単価を基に用途別に設定された単価を使用します。また、建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については含むものとして想定しています。

●大規模改修単価

建替えの6割と想定し、この想定単価を設定します。

●耐用年数

標準的な耐用年数とされる60年を採用します。

※日本建築学会「建物の耐久計画に関する考え方」より

●大規模改修

建設後30年で行うものとして計算します。

●地域格差

地域差は考慮しないものとして計算します。

●経過年数が31年以上50年までのもの

今後10年間で均等に大規模改修を行うものとして計算します。

●経過年数が51年以上のもの

建替え時期が近いので、大規模改修は行わずに60年を経た年度に建替えるものとして計算します。

●耐用年数が超過しているもの

今後10年間で均等に更新するものとして計算します。

●建替え期間

設計、施工と複数年度にわたり費用がかかることを考慮し、建替え期間を3年間として計算します。

●修繕期間

設計、施工と複数年度にわたり費用がかかることを考慮し、修繕期間を2年間として計算します。

総務省公共施設等更新費用試算ソフト 更新単価

施設用途	大規模改修単価	建替え単価
町民文化系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
社会教育系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
産業系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
学校教育系施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
子育て支援施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
保健・福祉施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
医療施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
行政系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
公営住宅	17 万円/㎡	28 万円/㎡
公園	17 万円/㎡	33 万円/㎡
供給処理施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
その他	20 万円/㎡	36 万円/㎡

施設用途	更新年数	更新単価
道路	15 年	4,700 円/㎡
橋梁（RC、PC、石、木橋）	60 年	425 千円/㎡
橋梁（鋼橋）	60 年	500 千円/㎡
上水道（導水管・送水管） ~300mm 未満	40 年	100 千円/m
上水道（配水管） ~150mm 以下	40 年	97 千円/m
下水道	50 年	124 千円/m

第3章

公共施設等総合管理計画の目的等

1 公共施設等総合管理計画の目的

我が国では、厳しい財政状況が続く中で、今後も、人口減少等により歳入の減少が予想されています。地方公共団体では、早急に公共施設等の需要の変化や管理状況を把握し、長期的な視点をもって、計画的な維持管理を行うことにより、財政負担を軽減・平準化することが必要となっています。

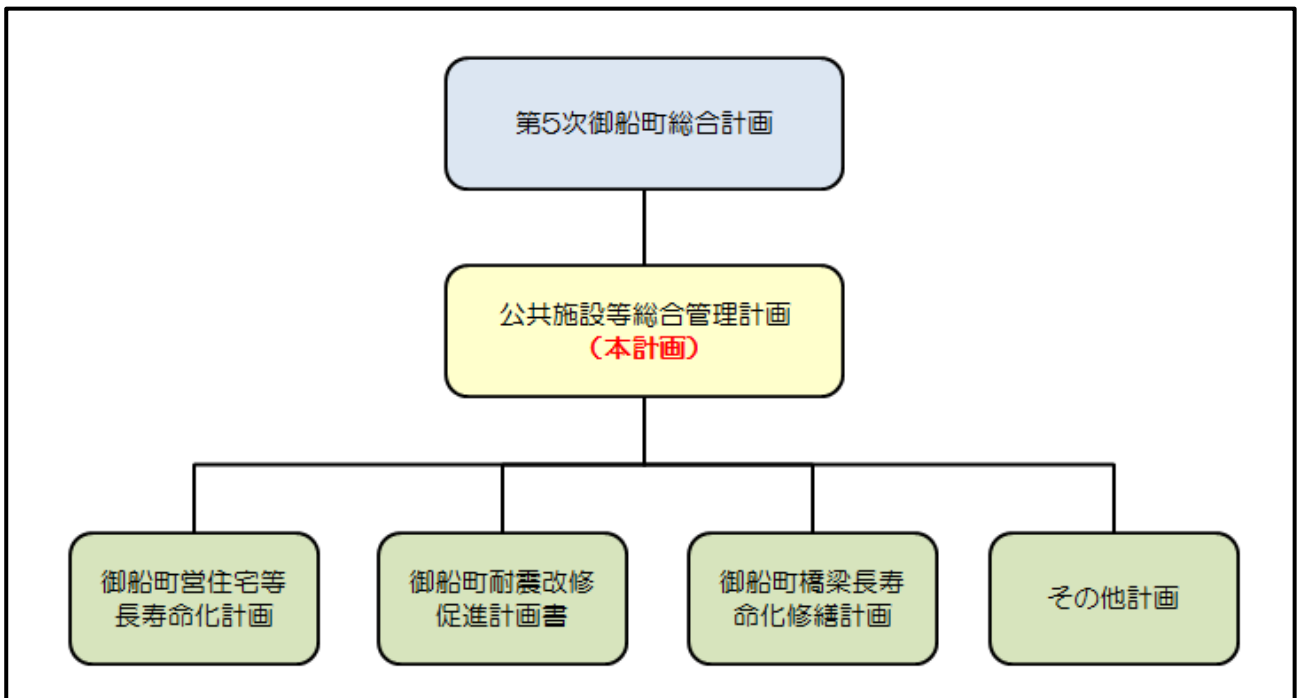
本町においても、長期的展望において人口は減少し、これに伴い歳入の減少が予測されています。また、これまで整備してきた公共施設等（道路、橋梁、上下水道等「インフラ」資産及び庁舎、図書館、校舎等「ハコモノ」資産、その他）が時間の経過とともに徐々に老朽化しており、その安全性と機能性を確保するための維持管理、更新等に要する費用は大きくなることが予想されています。

このような背景を踏まえ、本町では、公共施設等の計画的な維持管理及び公共施設等の更新にかかる財政負担の軽減・平準化を目的として、「公共施設等総合管理計画」を作成しました。

本計画書は、「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の策定について」（総財務第75号 平成26年4月22日）で示された「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に準拠し、「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月29日インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を参考として策定しています。

2 公共施設等総合管理計画の位置付け

本計画は、本町の上位計画である「第5次御船町総合計画」を下支えする計画であり、各政策分野の中で公共施設面の取り組みに対して横断的な指針を提示するものです。また、平成22年3月に策定した「御船町耐震改修促進計画書」、平成21年3月に策定した「御船町橋梁長寿命化修繕計画」、平成26年2月に策定した「御船町営住宅等長寿命化計画」などの個別の公共施設計画については、本計画を上位計画と位置づけ、本計画の方針との整合性や計画自体の実現可能性をはかっていくこととします。

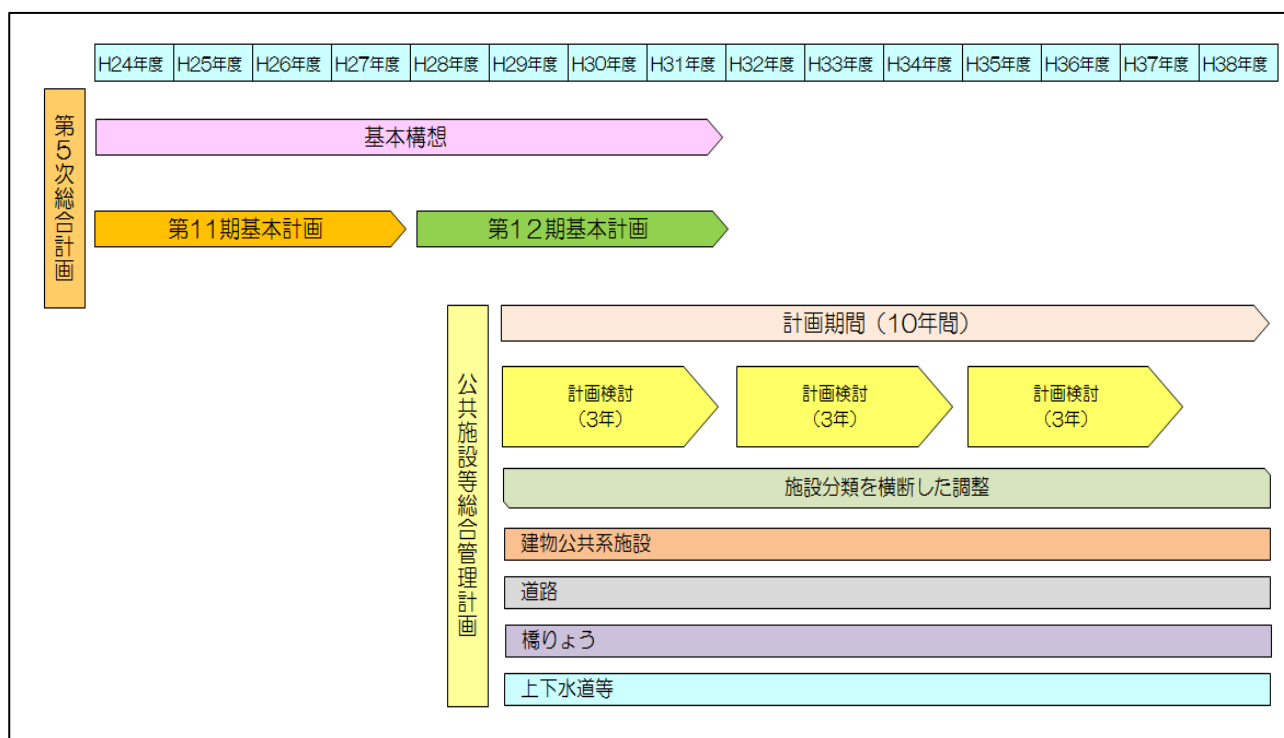


3 公共施設等総合管理計画の計画期間

本計画期間は、平成 29 年度から平成 38 年度までの 10 年間とし、計画内容については、社会情勢の変化や財政事情などを勘案しながら適宜検討を加えて策定していきます。

本計画のローリング（施策・事業について、現実と長期計画のズレを埋めるために、転がすように見直しや修正等を定期的に行っていく方法をいう。）については、3 年毎に見直しを行うことを基本とするとともに、歳入・歳出額の変動や扶助費等の増大、更新費用試算条件の変更などの場合に、適宜見直しを行うこととします。

イメージは、以下のとおりです。



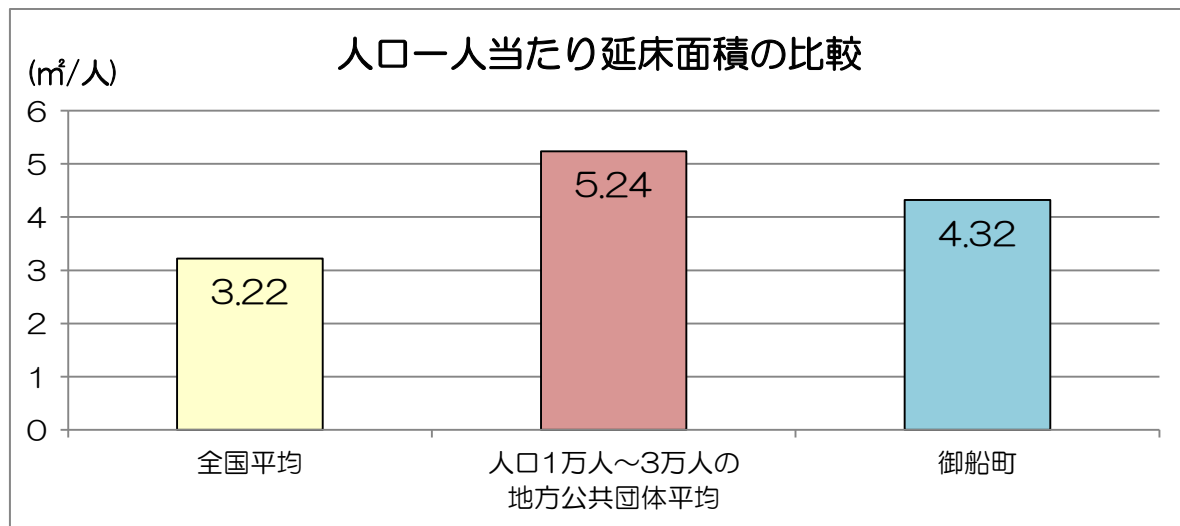
第4章

公共施設等の管理に関する基本方針

1 公共施設における現状と課題

(1) 施設の保有量

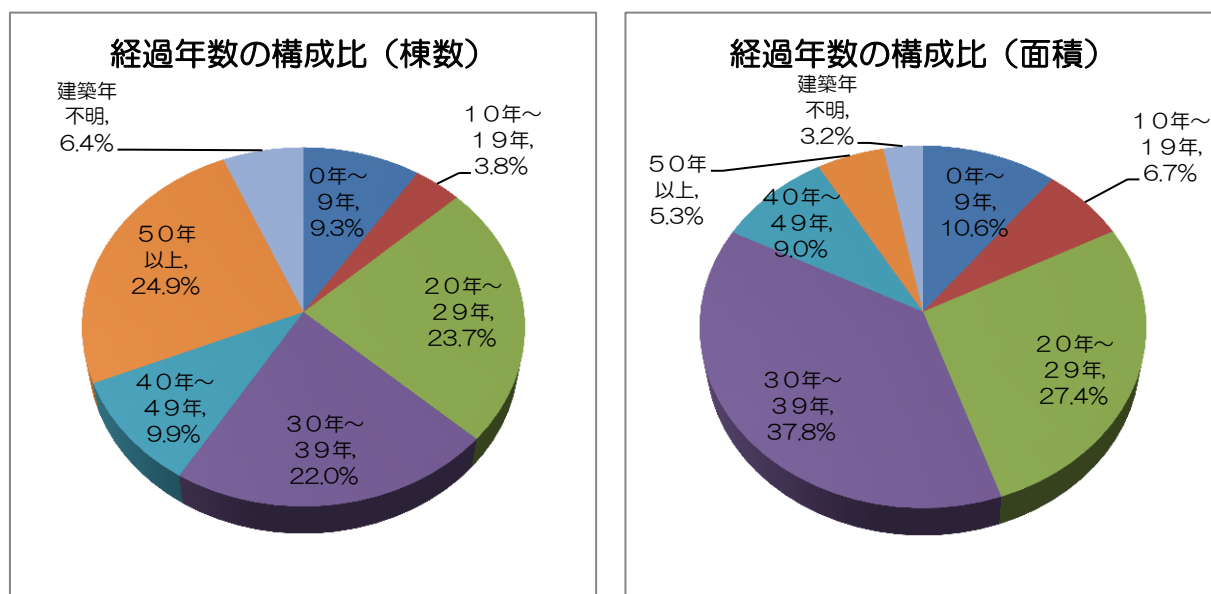
本町が所有する施設の延床面積は全体で、約 7.6 万㎡。人口一人当たり約 4.32 ㎡/人です。全国平均値は 3.22 ㎡/人となっていますので、全国平均よりも多くの面積を保有していることになります。また、人口規模の類似する団体（人口 1 万人～3 万人の地方公共団体平均）と比較した場合においては、施設保有量は少ないことがうかがえます。今後も人口規模を考慮した公共施設の数量を適正に維持するための施策が必要となります。



※一人当たり延床面積の全国平均値及び人口規模の類似する団体（人口 1 万人～3 万人の団体）の平均値については、『公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査結果 平成24年3月 総務省自治財政局財務調査課』より引用しています。

（２）施設の老朽化

建物については、一般的に建築後 30 年が老朽化判定のひとつの目安となっています。経過年数 30 年以上の施設が、棟数ベースで約 63%、面積ベースで約 55%あります。多くの建物について老朽化が進行しており、今後、大規模改修等が必要な施設として、検討が必要になってきます。



（３）財源の不足

少子化等に伴う生産年齢人口の減少が続いており、町税の減収が続くと見込まれますが、高齢化等に伴う扶助費の高止まりが予想され、公共施設等の維持更新費に対し財源不足が予想されます。一方、今後 40 年間に改修や更新の必要な施設が数多くあり、改修・更新コストの増加が見込まれるので、コスト（財務）の適正性を保つ施策が求められます。

2 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

公共施設等の現状や人口・財政の状況をみると、このまま公共施設等全てを更新していくことは大変困難な状況にあります。今後は計画的な更新時期の分散化、管理方法の見直しが必要です。

建物系公共施設については、新規施設の建設を必要最低限とし、人口動向や住民ニーズの変化に合わせて、既存施設を最大限有効活用します。また施設を長く安全に使うため、適切な維持管理を行います。さらに民間企業等の持つノウハウや資金を積極的に導入し、改修・更新コスト及び管理運営コストの縮減に努め、財政負担の軽減とサービス水準の向上を図ります。

インフラ系公共施設については、長寿命化に取り組み、施設を安全で長期的に使用できるよう努めます。また維持管理にかかる費用の縮減と更新費用の平準化に努めます。

（１）点検・診断等の実施方針

建物の劣化及び機能低下を防ぐため、日常の点検・保守に努めます。

点検については、施設の管理者で実施する場合と専門家に依頼する場合があります。委託契約により実施している場合には、委託契約どおりに実施されているかどうか、委託先から確実に報告を受け、実態を把握します。

診断については、施設の安全性、耐久性、不具合性、快適性、環境負荷性、社会性など種々の評価項目から本町に必要なものを選択し、評価方式を構築します。施設毎に評価を行い、施設の課題と優先度を判断できるようにします。

点検・診断等については、その履歴を記録し、集積・蓄積して老朽化対策等に活かします。

●公共施設診断の対象となる評価項目

評価項目			内 容
安全性	①	安全性	敷地安全性（耐災害）、建物耐震・耐風・耐雪・耐雨・耐落雷安全性、防火安全性、事故防止性、防犯性、空気質・水質安全性
	②	耐久性	建物部位（構造・外装など）の耐久性・劣化状況
	③	耐用性	経過年数と耐用年数、変化に対する追従性、計画的な保全・大規模改修
	④	保全性	維持容易性、運営容易性、定期検査の履行
	⑤	適法性	建築法規、消防法、条例
機能性	⑥	不具合性	施設各部位（構造・仕上・付帯設備・建築設備）の不具合性
	⑦	快適性	施設快適性（室内環境・設備）、立地利便性
	⑧	情報管理の妥当性	情報収集、情報管理、情報利活用
環境性	⑨	環境負荷性	施設の環境負荷性（省エネ、有害物質除去など）
社会性	⑩	社会性	地域のまちづくりとの調和、ユニバーサルデザイン（バリアフリー化）
	⑪	顧客満足度	顧客満足度、職員満足度
	⑫	施設充足率	地域別施設数量の適正性、用途別施設数量適正性、余剰スペース
	⑬	供給水準の適正性	供給数量適正性（敷地面積、建物面積など）
	⑭	施設利用度	施設利用率、空室率
経済性	⑮	体制・組織の妥当性	統括管理体制、管理体制、トップマネジメントへの直属性
	⑯	点検・保守・改修コストの適正性	点検・保守費、清掃費、警備費、改修費・大規模改修費、更新費
	⑰	運用コストの適正性・平準化	運用費、水道光熱費
	⑱	ライフサイクルコストの適正性	ライフサイクルコスト

資料: FM 評価手法・JFMES13 マニュアル(試行版)を参考に作成

（２）維持管理・修繕・更新等の実施方針

施設の維持管理については、不具合発生の都度修理を行う「事後保全」から、計画的に保全や改修等を行う「予防保全」への転換を図ります。

修繕に当たっては、定期的な点検・診断結果に基づいて優先度を判断し、計画的に実施します。

更新する場合は、まちづくりとの整合性を保ちながらも公共施設のコンパクト化や効率化の観点から、単独更新以外の統合や複合化について検討を行います。

また今後の維持管理・更新・運営においては PPP/PFI 等の民間活力の導入についても検討していきます。

（３）安全確保の実施方針

引き続き使用していく施設のうち、データベース化された点検・診断結果から劣化・損傷など安全面での危険性が認められたものについては、安全確保に向けた改修等を検討し、対策を行います。

老朽化した建物や供用廃止された公共施設については、取り壊しなどの対策を講じることにより、安全性を確保します。

（４）耐震化の実施方針

公共施設の一部については、未耐震化の施設があります。「御船町耐震改修促進計画書」に沿って、耐震化を進めていきます。

（５）長寿命化の実施方針

長寿命化については、予防保全を基本とした定期的な点検や診断、計画的な維持管理・更新、さらには更新の際の長寿命製品への切り替えなどの実施により、安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減に努めます。また長期的な利用が望まれる施設に関しては、適切な時期に大規模改修を実施するなど、計画的に施設の長寿命化を図ります。

公営住宅、橋梁については「御船町営住宅等長寿命化計画」、「御船町橋梁長寿命化修繕計画」に沿って、進めていきます。

（６）統合や廃止の推進方針

施設の安全性や利用率等によって施設を診断し、継続使用、改善使用、用途廃止、施設廃止等の４つの段階に評価します。診断結果は、施設の統廃合及び供用廃止の判断材料とします。また公共施設等の統合や廃止では、住民サービスの水準低下が伴います。それを最小限にするために、公共施設のコンパクト化について住民や議会等と協議しながら検討していきます。

段階	住民サービス水準の変化	行政サービス・施設サービスの考え方	公共施設コンパクト化の施策
１	住民の痛みを求めない初動的取り組み	住民サービスの現状の水準を維持	公共施設等の運営の効率化
２	一定の住民負担を前提とした住民サービスの質の低下を招かない取り組み	行政サービス、施設サービスの質の改善を目指した取り組み 第１段階のコンパクト化	公共施設等の合築、複合化 公共施設等の統合
３	財政収支見通しに基づいた住民の痛みを伴う取り組み	行政サービス、施設サービスの見直しにより町民サービスが低下することも想定 第２段階のコンパクト化 ※住民の理解と合意形成が必要	公共施設等の使用制限・使用料金徴収（受益者負担） 公共施設等の減築 公共施設等の廃止
４	公共団体が果たすべき公共施設管理の役割を明確化にする取り組み	民間主体による公共施設管 第３段階のコンパクト化	公共施設等維持管理の民営化

(7) フォローアップの実施方針

本計画は、長期的な計画になるため、社会情勢や住民ニーズ等を把握しながら、適宜見直しを行います。また、今後、施設類型を単位とした個別の施設計画の策定を進めます。その際、本計画との整合性を鑑みながら、見直し等のフォローを図ります。

また各部門に散在する公共施設等の新設工事及び維持管理に伴う修繕工事等の関連データを収集し、一元的に管理する体制を構築します。データベース化した情報をもとに、詳細な将来の公共施設等の更新時期やその費用予測が行えるよう整備することを目指します。

3 推進体制

施設の各部門を横断的に管理し、施設を効率的に維持管理する目的で、町長をトップとした全庁的な取り組み体制を構築します。施設情報の一元管理においては、庁内の施設管理システムを活用し、関係部局との共有化を図ります。また以下の内容についても取り組むこととします。

①財政との連携

効果的、効率的なマネジメントを実施していくために、財政部局との連携を図ります。

②職員への啓発・意識改革

研修や勉強会等を適宜実施することにより、公共施設等マネジメントに対する職員の理解の促進、意識の向上を図ります。

③広域的な連携・協力

町単独ではなく、関連する自治体間の連携を行い、協力することによって、より効果的・効率的な取り組みを実践していきます。

第5章

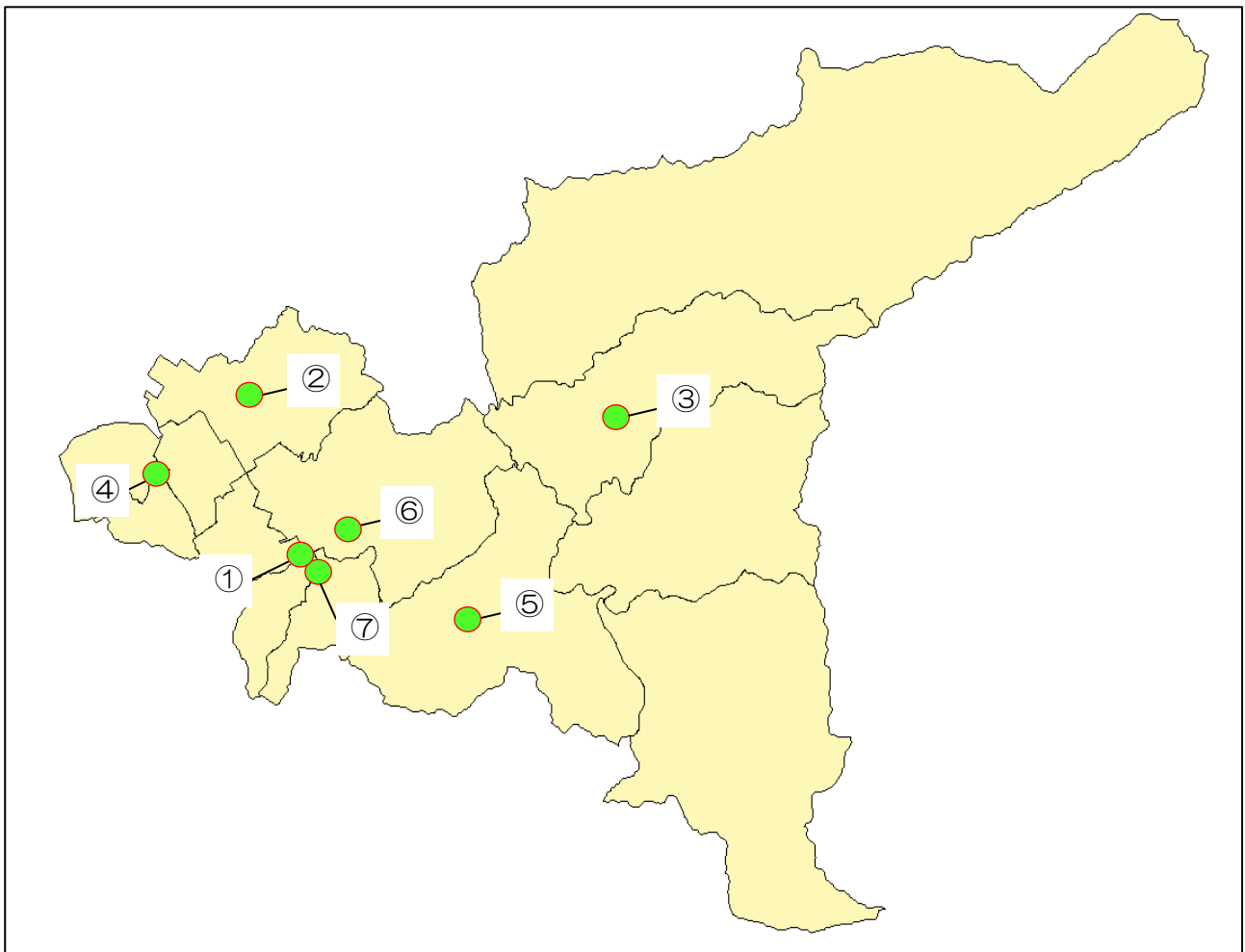
施設類型ごとの基本方針

1 建物系公共施設

1. 学校教育系施設

①施設状況

施設配置の状況



①御船小学校 ②高木小学校 ③七滝中央小学校 ④小坂小学校 ⑤滝尾小学校 ⑥木倉小学校

⑦御船中学校

施設概要

施設数：7施設

本町の学校教育系施設は、小学校6校、中学校1校があります。

本町が所有する学校教育系施設の概要は以下です。

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	御船小学校	体育館	大 字 滝 川 3 番地	1,092.00	鉄骨造	昭和 57	34
		校舎		2,985.00	鉄筋コンクリート	平成 22	6
		倉庫		39.00	鉄骨造	昭和 42	49
		プール専用付属室 (更衣室、便所)		60.00	鉄筋コンクリート	平成 7	21
		プール専用付属室 (ポンプ室)		15.00	鉄筋コンクリート	平成 10	18
		プール専用付属室 (倉庫)		14.00	鉄筋コンクリート	平成 10	18
		給食配膳室		96.00	鉄筋コンクリート	平成 23	5
		校舎		163.00	鉄筋コンクリート	平成 23	5
		校舎		294.00	鉄筋コンクリート	平成 23	5
		校舎		168.00	鉄筋コンクリート	平成 23	5
②	高木小学校	屋内運動場	大 字 高 木 1633 番地	333.00	鉄骨造	昭和 48	43
		教室棟・管理棟		1,676.00	鉄筋コンクリート	昭和 56	35
		教室棟		180.00	鉄筋コンクリート	昭和 59	32
		プール専用付属室		12.00	木造	昭和 50	41
		給食室		88.00	鉄筋コンクリート	昭和 56	35
		倉庫		12.00	鉄骨造	昭和 58	33
③	七滝中央小 学校	校舎	大 字 上 野 1500 番地	1,708.00	鉄筋コンクリート	平成 18	10
		屋内運動場		333.00	鉄骨造	昭和 50	41
		倉庫		33.00	鉄骨造	平成 19	9
		給食棟		119.00	鉄骨造	平成 25	3
		屋外便所		16.00	木造	平成 13	15
		給食室		116.00	鉄骨造	平成 25	3

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
④	小坂小学校	普通教室棟・管理棟	大 字 小 坂 2193 番地 2	1,672.00	鉄筋コンクリート	昭和 55	36
		屋内運動場		880.00	鉄筋コンクリート	平成 16	12
		普通教室棟		194.00	鉄筋コンクリート	昭和 62	29
		地域・学校連携施設		200.00	鉄筋コンクリート	平成 16	12
		給食室		77.00	鉄骨造	平成 16	12
		普通教室		151.74	鉄骨造	平成 26	2
⑤	滝尾小学校	屋内運動場	大 字 滝 尾 934 番地 1	333.00	鉄骨造	昭和 46	45
		管理教室棟・教室棟		1,674.00	鉄筋コンクリート	昭和 58	33
		給食室		88.00	鉄筋コンクリート	昭和 58	33
		倉庫		12.00	鉄骨造	昭和 58	33
		トイレ		11.00	鉄骨造	昭和 58	33
		プール専用付属室		15.00	木造	平成 7	21
⑥	木倉小学校	屋内運動場	大 字 木 倉 954 番地	333.00	鉄骨造	昭和 48	43
		普通教室・管理教室棟		1,500.00	鉄筋コンクリート	昭和 53	38
		給食室		88.00	鉄筋コンクリート	昭和 53	38
		体育倉庫		20.00	鉄骨造	昭和 53	38
		屋内運動場(便所)		8.00	木造	昭和 48	43
		倉庫		15.00	鉄骨造	昭和 58	33
		プール専用付属室(更衣室)		48.00	鉄筋コンクリート	平成 2	26
		プール専用付属室(トイレ)		15.00	鉄筋コンクリート	平成 2	26
		倉庫		32.40	木造	平成 26	2
⑦	御船中学校	普通教室棟	大 字 辺 田 見 55 番地	1,312.00	鉄筋コンクリート	昭和 51	40
		管理及び特別教室棟		1,365.00	鉄筋コンクリート	昭和 52	39
		屋外便所		45.00	鉄筋コンクリート	昭和 52	39
		普通教室棟		258.00	鉄筋コンクリート	昭和 57	34
		特別教室棟		1,336.00	鉄筋コンクリート	平成 4	24
		部室		87.00	木造	平成 5	23
		渡り廊下		140.00	鉄筋コンクリート	昭和 51	40
		給食室		114.00	鉄骨造	昭和 45	46
		屋内運動場		1,268.00	鉄筋コンクリート	平成 13	15
		屋内運動場(柔剣道場)		367.00	鉄筋コンクリート	平成 13	15

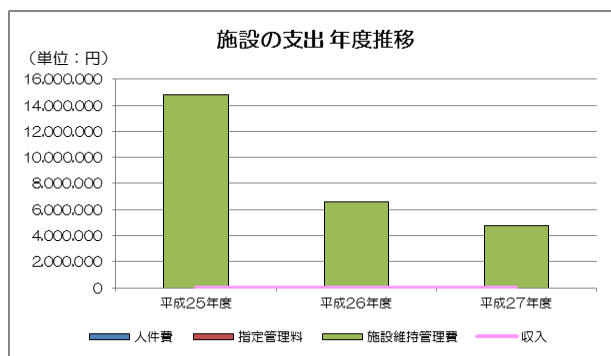
番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
		屋内運動場（地域・ 学校連携施設）ミー ティングルーム		207.00	鉄筋コンクリート	平成 13	15
		倉庫 1		18.00	鉄骨造	昭和 41	50
		倉庫 2		32.00	鉄骨造	平成 2	26
		プール		626.00	鉄骨造	不明	-

コストと収入の状況

《御船小学校》

(単位：円)

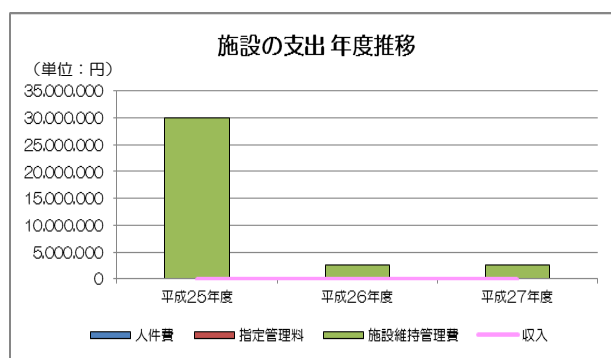
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	14,790,536	6,599,300	4,758,498
支出合計	14,790,536	6,599,300	4,758,498
収入	0	0	0



《高木小学校》

(単位：円)

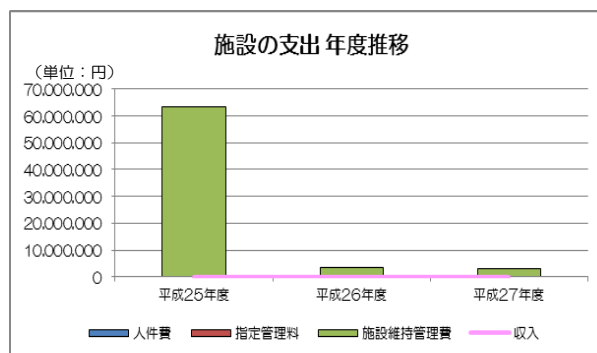
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	29,990,059	2,588,335	2,586,042
支出合計	29,990,059	2,588,335	2,586,042
収入	0	0	0



《七滝中央小学校》

(単位：円)

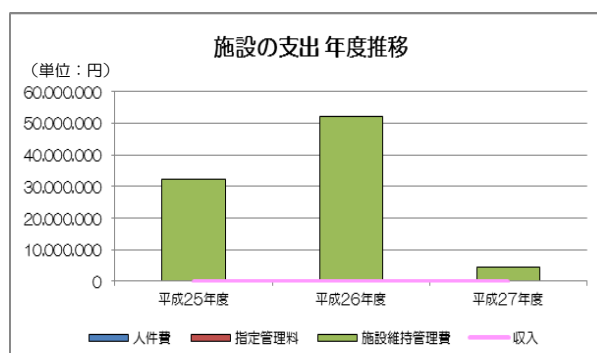
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	63,572,305	3,407,859	3,093,403
支出合計	63,572,305	3,407,859	3,093,403
収入	0	0	0



《小坂小学校》

(単位：円)

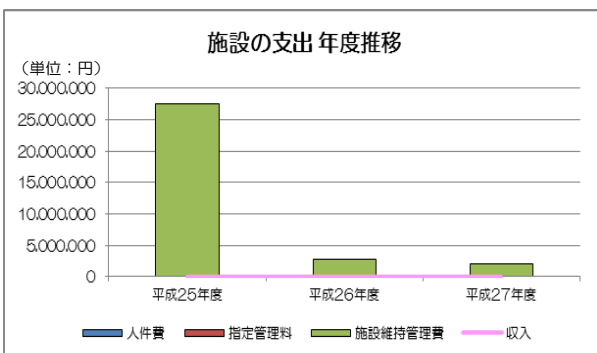
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	32,216,224	52,271,756	4,394,206
支出合計	32,216,224	52,271,756	4,394,206
収入	0	0	0



《滝尾小学校》

(単位：円)

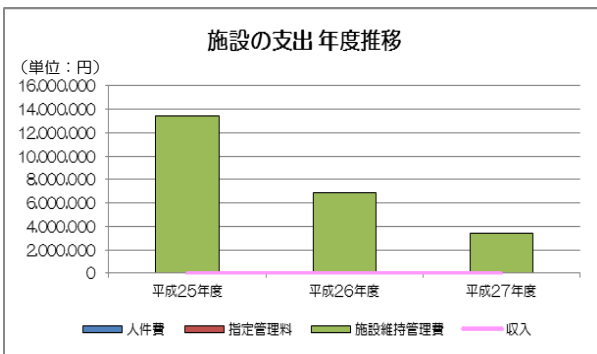
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	27,576,052	2,778,026	1,960,141
支出合計	27,576,052	2,778,026	1,960,141
収入	0	0	0



《木倉小学校》

(単位：円)

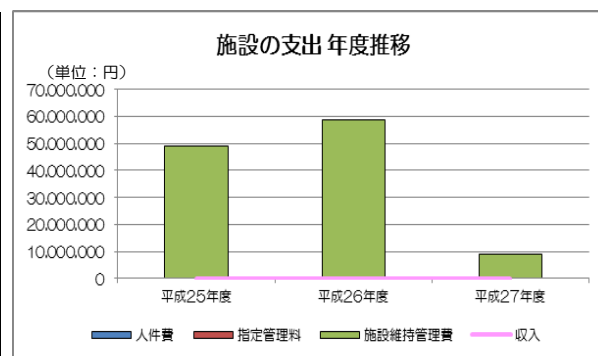
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	13,397,335	6,840,398	3,436,167
支出合計	13,397,335	6,840,398	3,436,167
収入	0	0	0



《御船中学校》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	49,041,179	58,895,570	8,911,344
支出合計	49,041,179	58,895,570	8,911,344
収入	0	0	0



②施設の基本方針

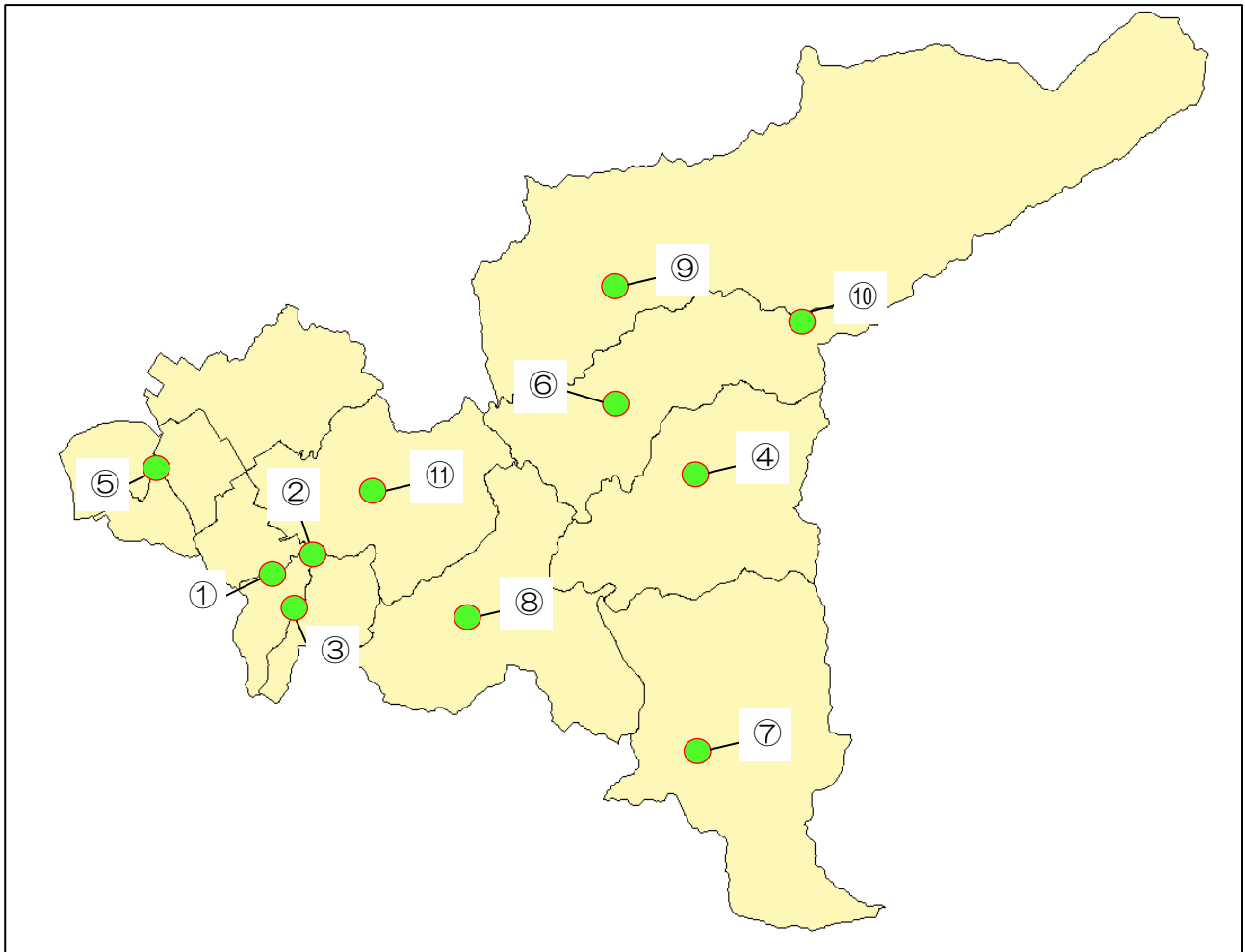
高木小学校、滝尾小学校、木倉小学校、御船中学校については経過年数が30年以上の建物が多くあり、改修や建替えの検討が必要です。

学校教育系施設は、教育としての役割だけでなく、地域の象徴的な施設としての役割、住民が寄り合う場所としての役割、また避難施設としての役割等、その存在意義は非常に大きく、多岐にわたるものと考えられます。老朽化や児童生徒数の推移等を考慮しながら、今後の適切な施設の維持管理及び更新等を検討します。

2. 町民文化系施設

①施設状況

施設配置の状況



①街なかギャラリー ②カルチャーセンター ③公民館御船分館 ④公民館七滝分館

⑤公民館小坂分館 ⑥公民館上野分館 ⑦公民館水越分館 ⑧公民館滝尾分館

⑨公民館北田代分館 ⑩公民館田代東部分館 ⑪公民館木倉分館

施設概要

施設数：11 施設

本町が所有する町民文化系施設の概要は以下です。

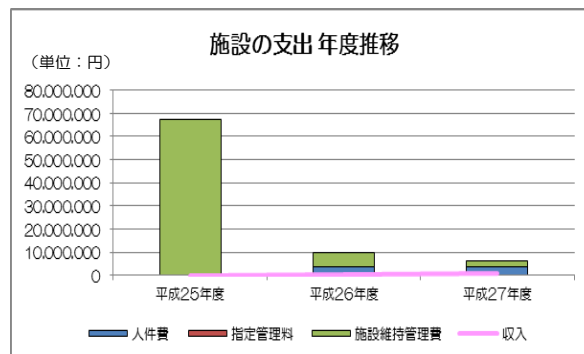
番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	街なかギャラリー	居宅(794-2)	大 字 御 船 794 番地	292.23	木造	不明	-
		倉庫(794-6)		57.19	木造	不明	-
		付属建物		24.46	木造	不明	-
		倉庫(794-7-2)		218.51	木造	不明	-
		居宅(794-10)		180.16	木造	不明	-
		付属建物		66.44	木造	不明	-
②	カルチャーセンター	カルチャーセンター	大 字 木 倉 1168 番地	3,202.00	鉄骨鉄筋 コンクリート	平成 3	25
③	公民館御船分館	公民館分館	大 字 御 船 又 851 番 7 の 2	321.83	木造	明治 28	-
④	公民館七滝分館	公民館分館	大 字 七 滝 2602 番 4	132.49	木造	平成 3	25
⑤	公民館小坂分館	公民館分館	大 字 陣 2016 番 2	157.95	鉄骨造	昭和 60	31
		小坂学童ひまわり クラブ		85.00	木造	不明	-
⑥	公民館上野分館	公民館分館	大 字 上 野 2215 番 1	153.55	木造	不明	-
⑦	公民館水越分館	公民館分館	大 字 水 越 4152 番 3	133.90	木造	平成 6	22
⑧	公民館滝尾分館	公民館分館	大 字 滝 尾 1025 番 1	132.00	木造	平成 13	15
⑨	公民館北田代分館	公民館分館	大字田代 748 番 1	149.97	木造	平成 26	2
⑩	公民館田代東部分館	公民館分館	大 字 上 野 5191 番 3	148.91	木造	平成 21	7
⑪	公民館木倉分館	公民館分館	大 字 木 倉 812 番 1	125.87	木造	平成 1	27

コストと収入の状況

《街なかギャラリー》

(単位：円)

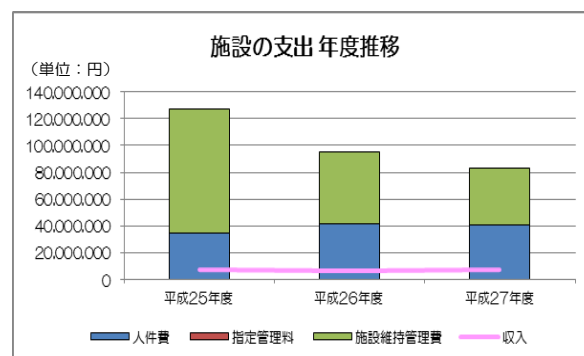
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	3,600,000	3,480,000
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	67,489,500	6,346,165	2,901,031
支出合計	67,489,500	9,946,165	6,381,031
収入	0	534,765	608,100



《カルチャーセンター》

(単位：円)

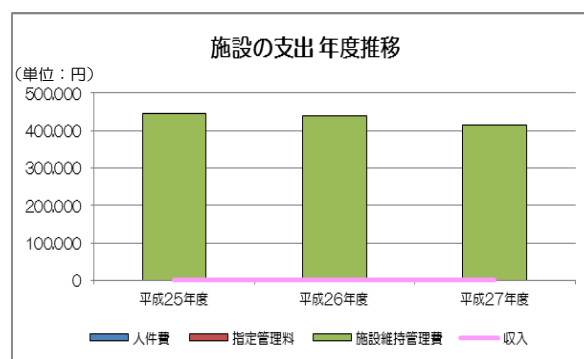
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	34,875,125	41,509,537	40,594,275
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	92,359,745	53,659,863	42,109,560
支出合計	127,234,870	95,169,400	82,703,835
収入	7,276,720	6,413,911	6,178,528



《公民館御船分館》

(単位：円)

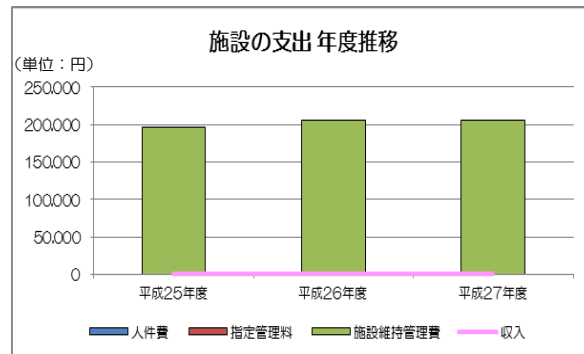
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	443,664	440,191	414,622
支出合計	443,664	440,191	414,622
収入	0	0	0



《公民館七滝分館》

(単位：円)

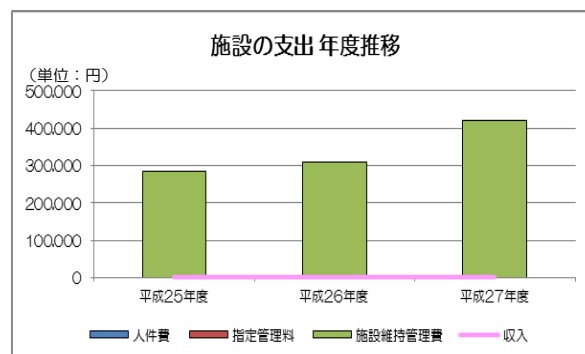
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	196,919	205,750	206,254
支出合計	196,919	205,750	206,254
収入	0	0	0



《公民館小坂分館》

(単位：円)

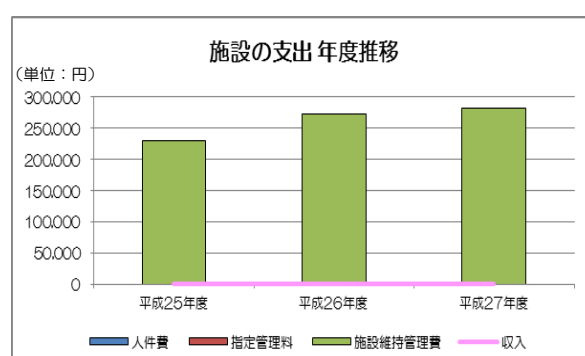
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	284,411	308,946	418,891
支出合計	284,411	308,946	418,891
収入	0	0	0



《公民館上野分館》

(単位：円)

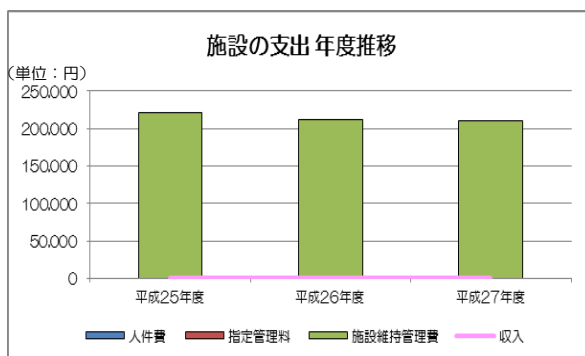
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	230,119	272,450	281,782
支出合計	230,119	272,450	281,782
収入	0	0	0



《公民館水越分館》

(単位：円)

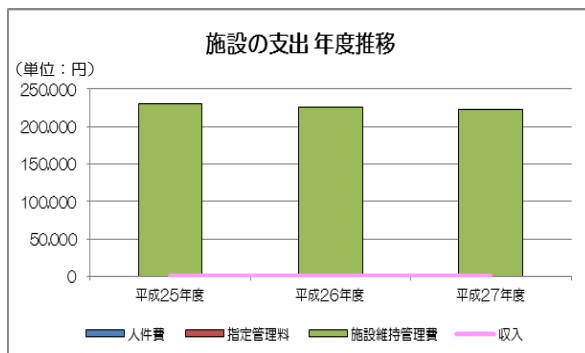
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	220,503	211,066	210,172
支出合計	220,503	211,066	210,172
収入	0	0	0



《公民館滝尾分館》

(単位：円)

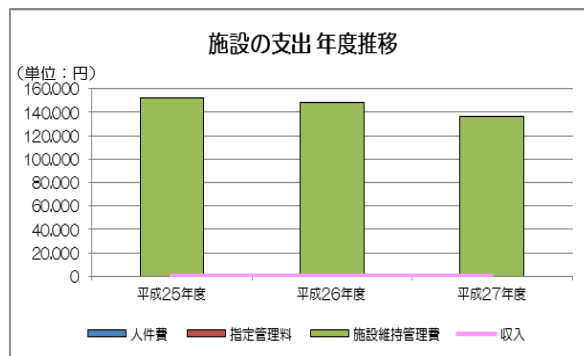
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	230,170	225,287	221,998
支出合計	230,170	225,287	221,998
収入	0	0	0



《公民館北田代分館》

(単位：円)

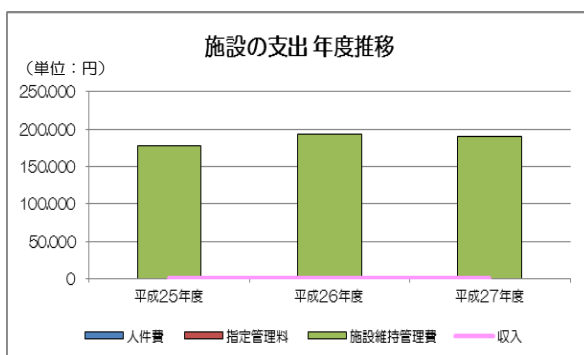
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	152,225	148,152	136,900
支出合計	152,225	148,152	136,900
収入	0	0	0



《公民館田代東部分館》

(単位：円)

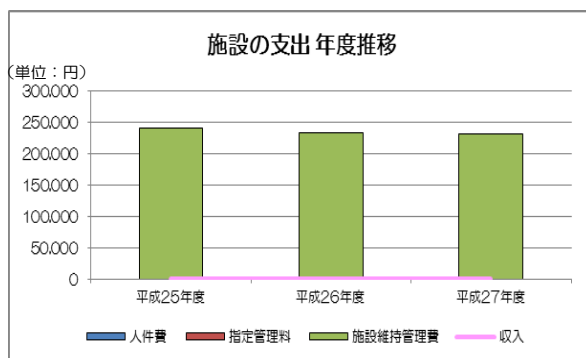
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	177,804	193,465	190,022
支出合計	177,804	193,465	190,022
収入	0	0	0



《公民館木倉分館》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	241,175	233,687	231,178
支出合計	241,175	233,687	231,178
収入	0	0	0



平成 28 年熊本地震における被害状況

カルチャーセンターは、柱・壁のひび割れやホールの天井（スピーカー枠・ライト）が落下しているため大規模な修復が必要です。修復費用に約 200,000 千円の経費を要する試算が出ています。

街なかギャラリーは、閉館を余儀なくされており、平成 29 年度の復旧を目指し、準備をしている状況です。修復費用に約 15,000 千円かかる予定です。

②施設の基本方針

カルチャーセンターについては、地域の方々の利用が中心となっているため、早期に修復を行い住民ニーズに corres 応することができるよう努めます。また財政状況等を考慮しながら、施設の長寿命化を図り、計画的かつ効率的な改修・更新を行い、中長期的な視点でのコスト縮減を図ります。

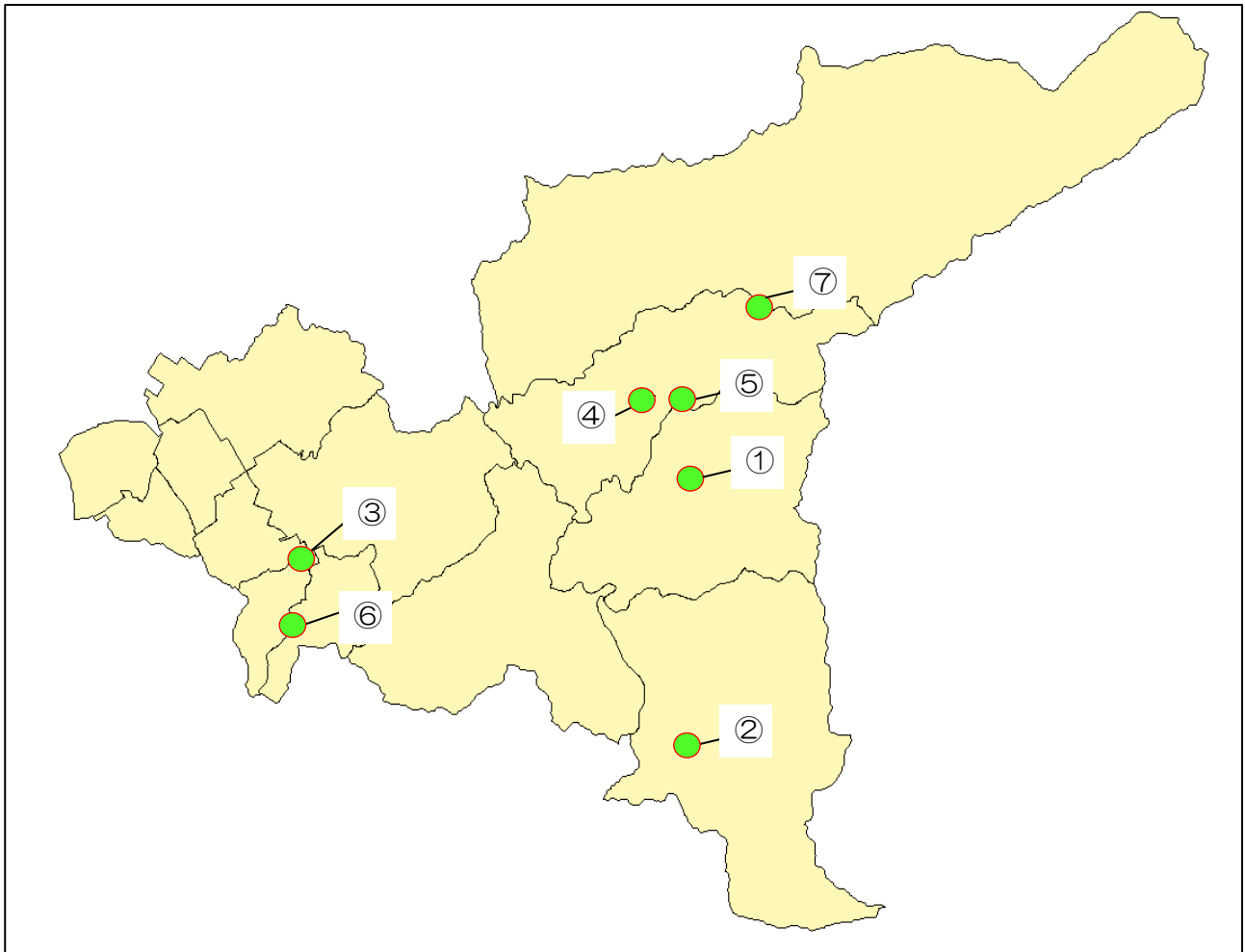
街なかギャラリーについては、適切な維持管理による更新を基本としますが、利用率や老朽化の進捗度を総合的に勘案し、優先順位をつけて耐震改修の計画を立て、実施します。

公民館分館は避難所としての役割も担っているため、優先順位を十分検討した上で、長寿命化や耐震化等を適正に進めていきます。またバリアフリーに対応していない施設については、今後バリアフリー化について検討します。公民館上野分館については、老朽化が著しいため建替えまたは代替施設の利用を検討します。公民館御船分館については、老朽化が進行しており、平成 28 年熊本地震の被災を受けて修復することとしています。

3. 社会教育系施設

①施設状況

施設配置の状況



①七滝社会教育センター ②水越社会教育センター ③恐竜博物館 ④鼎春園(宮部公園)

⑤八勢眼鏡橋公園 ⑥妙見坂公園(軍人墓地) ⑦田代東部社会教育センター

施設概要

施設数：7 施設

本町が所有する社会教育系施設の概要は以下です。

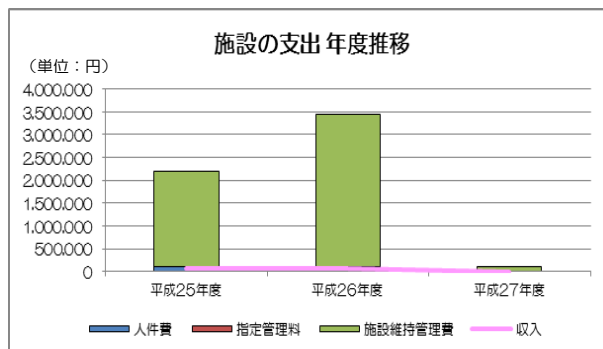
番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	七滝社会教育センター	校舎	大 字 七 滝 2555 番地 2	1,500.00	鉄筋コンクリート	昭和 52	39
		給食室		88.00	鉄筋コンクリート	昭和 52	39
		体育館		400.00	鉄骨造	昭和 52	39
②	水越社会教育センター	校舎	大 字 水 越 2449 番地	2,252.00	鉄筋コンクリート	昭和 61	30
		倉庫		30.00	鉄筋コンクリート	昭和 61	30
		体育館		400.00	鉄骨造	昭和 57	34
		体育館		380.00	鉄骨造	不明	-
		倉庫		30.00	鉄骨造	不明	-
③	恐竜博物館	恐竜博物館	大 字 御 船 995 番地の 6	1,979.40	鉄骨造	平成 25	3
④	鼎春園(宮部公園)	-	大 字 上 野 2214 番地	-	-	-	-
⑤	八勢眼鏡橋公園	-	大 字 上 野	-	-	-	-
⑥	妙見坂公園 (軍人墓地)	-	大 字 辺 田 見	-	-	-	-
⑦	田代東部社会教育センター	体育館	大 字 田 代 4984 番地	500.00	鉄骨造	平成 3	25

コストと収入の状況

《七滝社会教育センター》

(単位: 円)

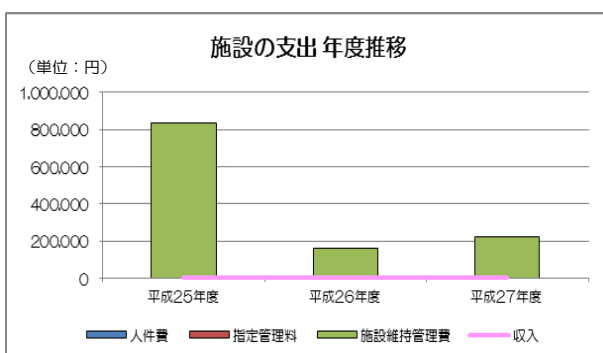
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	113,939	98,211	
指定管理料	0	0	
施設維持管理費	2,085,357	3,338,829	118,549
支出合計	2,199,296	3,437,040	118,549
収入	67,200	67,100	0



《水越社会教育センター》

(単位: 円)

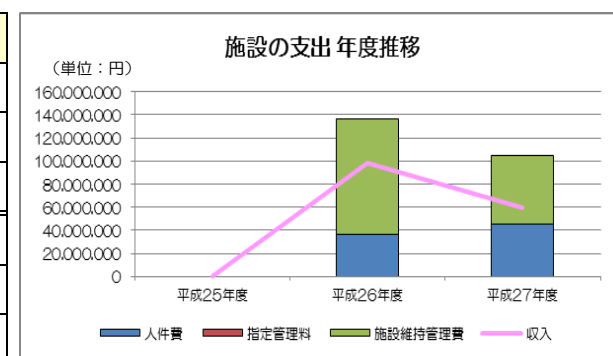
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	832,676	160,642	221,266
支出合計	832,676	160,642	221,266
収入	0	0	0



《恐竜博物館》

(単位: 円)

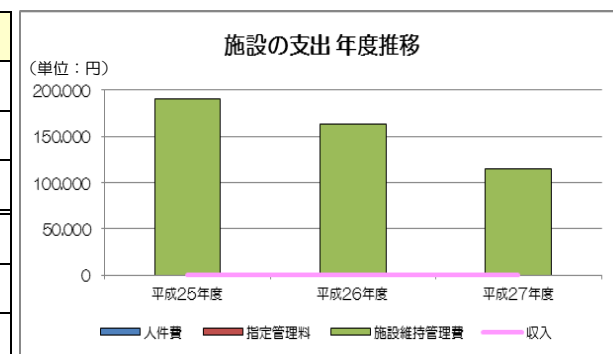
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	36,512,819	45,650,221
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	100,319,855	59,590,786
支出合計	0	136,832,674	105,241,007
収入	0	98,482,285	59,880,201



《鼎春園(宮部公園)》

(単位: 円)

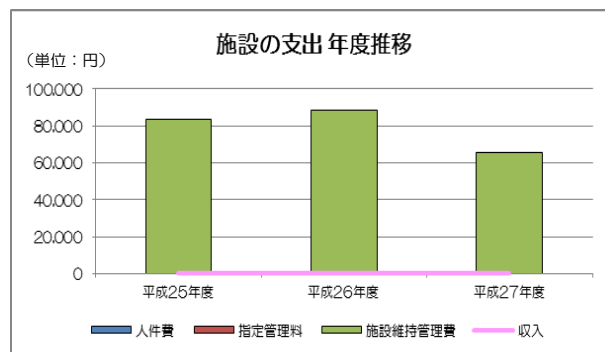
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	190,128	162,770	115,381
支出合計	190,128	162,770	115,381
収入	0	0	0



《八勢眼鏡橋公園》

(単位:円)

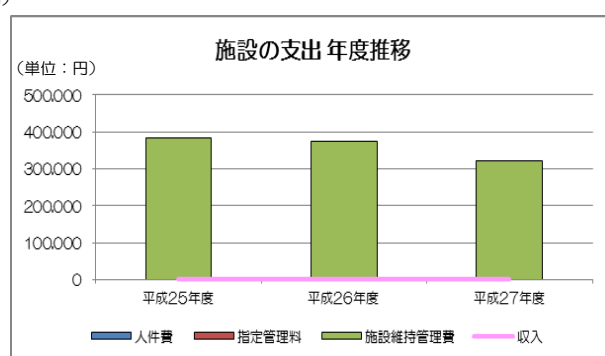
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	83,170	88,310	65,740
支出合計	83,170	88,310	65,740
収入	0	0	0



《妙見坂公園(軍人墓地)》

(単位:円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	384,183	374,368	321,329
支出合計	384,183	374,368	321,329
収入	0	0	0



平成 28 年熊本地震における被害状況

七滝社会教育センターについては、壁のひび割れや柱の一部破損により修復が必要です。修復費用に約 45,000 千円の経費を要する試算となっています。

②施設の基本方針

すべての施設において、利用率や老朽化の状況をみながら適切な維持管理に努めます。

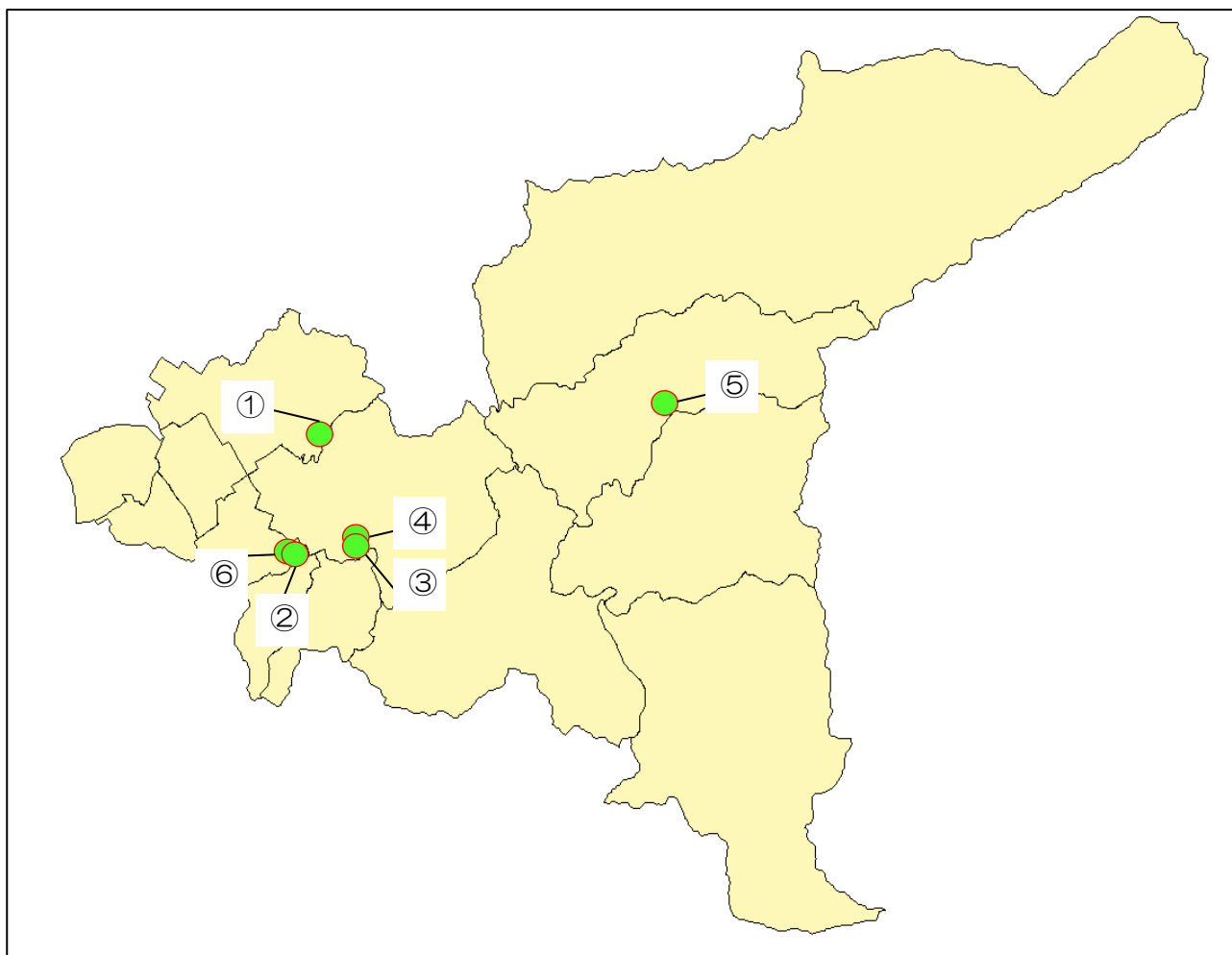
七滝社会教育センター、水越社会教育センターについては地域住民のニーズ等を把握しながら、解体も含め、今後の施設のあり方について検討します。

恐竜博物館については、御船町教育振興基本計画に掲げる充実した教育環境づくりのひとつとしても重要な役割を担っていくものとしており、今後も利用者数が増えるような施設の運営を行っていきます。

4. スポーツ・レクリエーション系施設

①施設状況

施設配置の状況



①自然運動公園 ②スポーツセンター ③家畜市場跡ゲートボール場 ④御船町町民グラウンド

⑤八勢眼鑑橋トイレ ⑥観光交流センター

施設概要

施設数：6施設

本町が所有するスポーツ・レクリエーション系施設の概要は以下です。

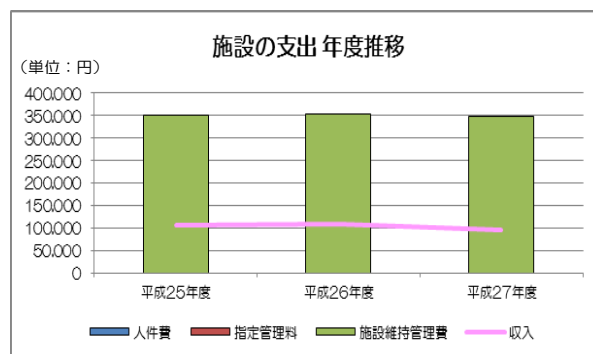
番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	自然運動公園	-	大字高木	-	-	-	-
②	スポーツセンター	スポーツセンター	大 字 木 倉 1176 番地 1	6,183.40	鉄筋コンクリート	平成 7	21
③	家畜市場跡 ゲートボール場	-	大 字 木 倉 1609 番地	-	-	-	-
④	御船町町民 グラウンド	南倉庫	大 字 木 倉 1600 番地	60.00	鉄筋コンクリート	-	-
		北倉庫		27.00	鉄骨鉄筋 コンクリート	-	-
		便所		46.00	木造	-	-
		便所		24.00	木造	-	-
⑤	八勢眼鑑橋 トイレ	八勢眼鑑橋トイレ	大 字 上 野	6.62	木造	平成 23	5
⑥	観光交流センター	観光交流センター	大 字 御 船 1003	335.99	木造	平成 25	3

コストと収入の状況

《自然運動公園》

(単位：円)

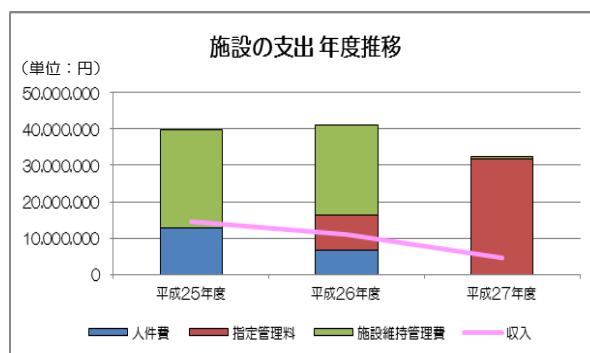
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	350,443	353,516	348,217
支出合計	350,443	353,516	348,217
収入	106,331	108,892	95,460



《スポーツセンター》

(単位：円)

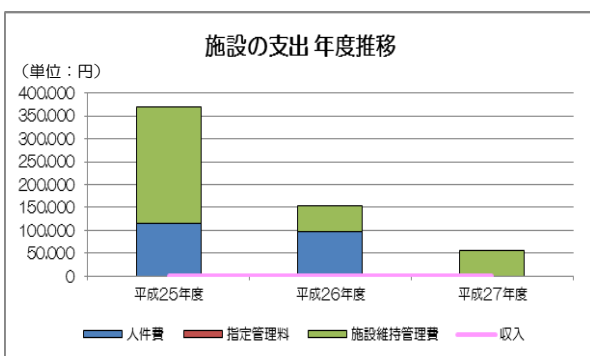
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	12,822,639	6,636,510	0
指定管理料	0	9,850,000	31,750,000
施設維持管理費	26,986,086	24,705,615	563,868
支出合計	39,808,725	41,192,125	32,313,868
収入	14,577,700	11,017,180	4,646,290



《家畜市場跡ゲートボール場》

(単位：円)

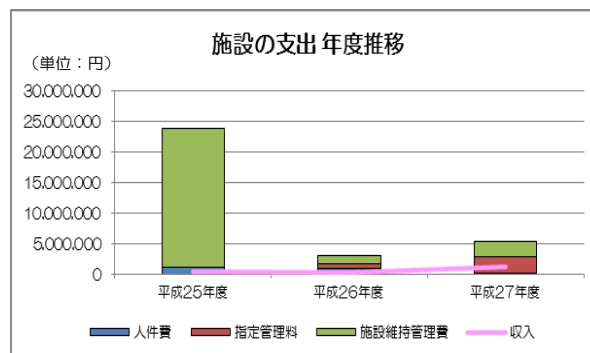
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	113,939	98,211	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	255,630	55,067	57,241
支出合計	369,569	153,278	57,241
収入	0	0	0



《御船町町民グラウンド》

(単位：円)

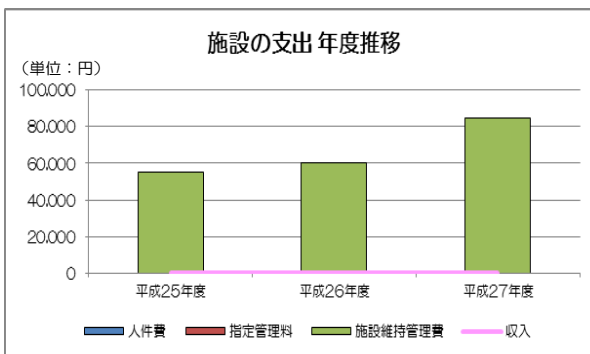
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	1,139,394	982,117	64,000
指定管理料	0	650,000	2,750,000
施設維持管理費	22,746,560	1,387,772	2,542,136
支出合計	23,885,954	3,019,889	5,356,136
収入	419,000	334,830	1,173,900



《八勢眼鑑橋トイレ》

(単位：円)

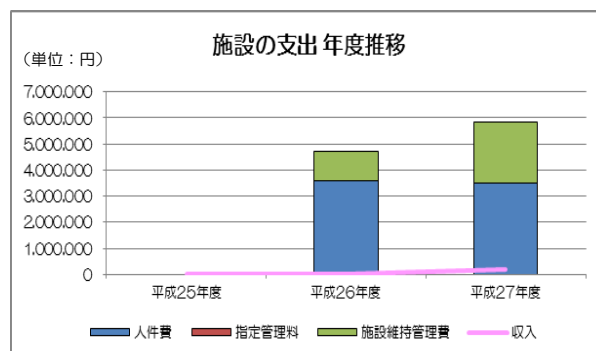
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	55,170	60,140	84,788
支出合計	55,170	60,140	84,788
収入	0	0	0



《観光交流センター》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	3,600,000	3,480,000
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	1,133,948	2,376,105
支出合計	0	4,733,948	5,856,105
収入	0	0	176,240



平成 28 年熊本地震における被害状況

自然運動公園は、仮設住宅が建設されており、現状復旧のめどはたっていません。

スポーツセンターは、柱・壁のひび割れやアリーナ天井が落下しているため大規模な修復が必要です。修復費用に約 250,000 千円の経費を要する試算となっています。

②施設の基本方針

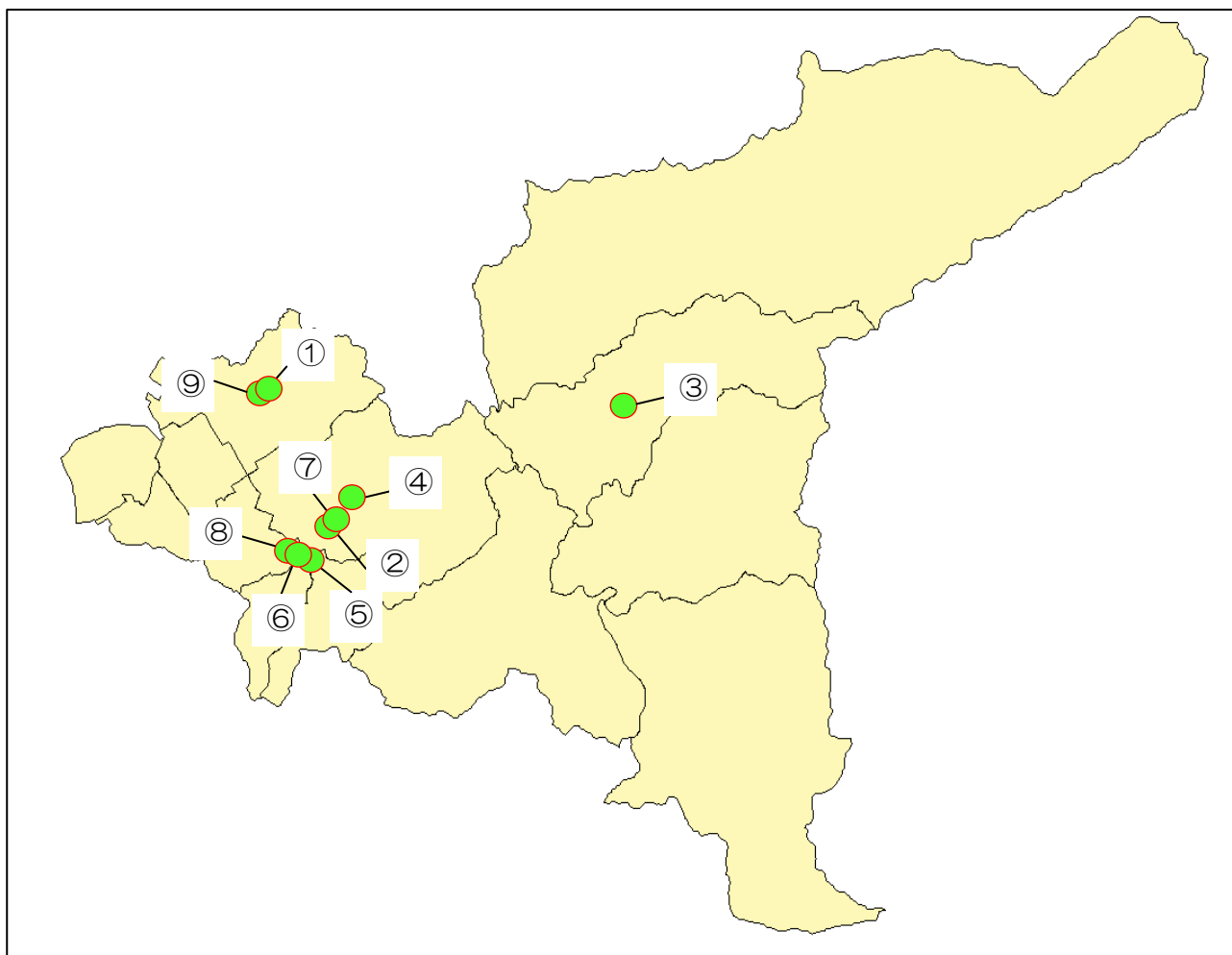
スポーツ・レクリエーション系施設は、住民の健康増進・スポーツ振興のためだけでなく、本町の観光振興にも有意義な施設であると考え、その分、安全面については十分考慮する必要があります。そのためには施設の老朽化を把握しつつ適正な維持管理を行い、耐震改修の計画を立てながら実施します。また施設状況を的確に把握し管理するため、管理データを整備し、定期点検を行って予防保全を前提とした維持管理を実施します。さらに利用者数の増加につながるような取り組みに努めます。

家畜市場跡ゲートボール場、御船町町民グラウンドについては、移転も含めて今後の運営について検討していきます。

5. 子育て支援施設

①施設状況

施設配置の状況



①高木保育園 ②若葉保育園 ③上野保育園 ④御船みるく病児保育室 ⑤子育てふれあい館

⑥御船学童保育どんぐりクラブ ⑦木倉学童保育あけぼのクラブ ⑧御船学童保育くるみクラブ

⑨高木学童保育うさぎクラブ

施設概要

施設数：9 施設

本町が所有する子育て支援施設の概要は以下です。

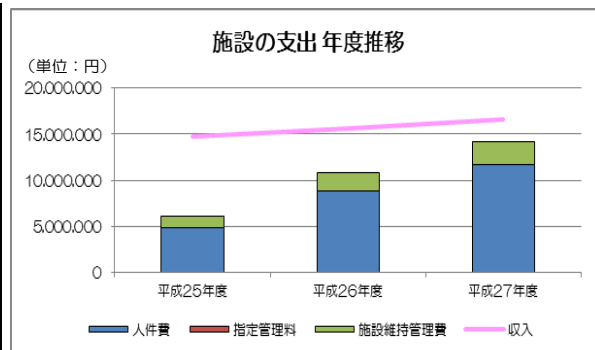
番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	高木保育園	園舎	大 字 上 高 木 2044 番地	282.25	鉄骨造	昭和 52	39
		園舎		180.50	鉄骨造	昭和 54	37
		園舎		33.75	鉄骨造	昭和 57	34
②	若葉保育園	園舎	大 字 木 倉 1416 番地	676.90	木造	平成 2	26
		倉庫		20.00	木造	平成 22	6
③	上野保育園	園舎	大 字 上 野 1519 番地 2	364.71	木造	昭和 43	48
		園舎		119.52	木造	昭和 52	39
		車庫		76.72	鉄骨造	昭和 54	37
		車庫		119.57	鉄骨造	昭和 54	37
		園舎		不明	木造	昭和 57	34
		上野保育園		490.39	木造	平成 26	2
④	御船みるく 病児保育室	御船みるく病児保 育室	大字木倉 554 番地 2	110.00	鉄骨造	平成 21	7
⑤	子育てふれ あい館	子育てふれあい館	大 字 御 船 1003 番地 2	225.01	木造	平成 25	3
⑥	御船学童保 育どんぐり クラブ	学童保育施設	大 字 御 船 9 5 9 番 地	69.73	軽量鉄骨造	平成 22	6
⑦	木倉学童保 育あけぼの クラブ	学童保育施設	大 字 木 倉 9 5 4 番 地	68.37	軽量鉄骨造	平成 20	8
⑧	御船学童保 育くるみク ラブ	御船学童保育くる みクラブ	大 字 滝 川 3 番 地	93.40	木造	平成 23	5
⑨	高木学童保 育うさぎク ラブ	高木学童保育うさ ぎクラブ	大 字 高 木 1 6 3 8 番 地	81.15	木造	平成 24	4

コストと収入の状況

《高木保育園》

(単位: 円)

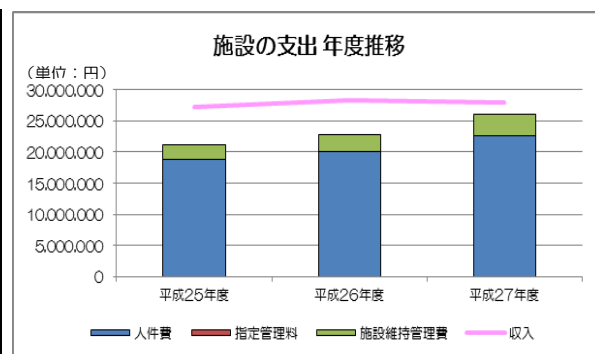
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	4,887,480	8,817,770	11,692,060
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	1,258,264	2,009,330	2,461,343
支出合計	6,145,744	10,827,100	14,153,403
収入	14,737,600	15,601,000	16,557,200



《若葉保育園》

(単位: 円)

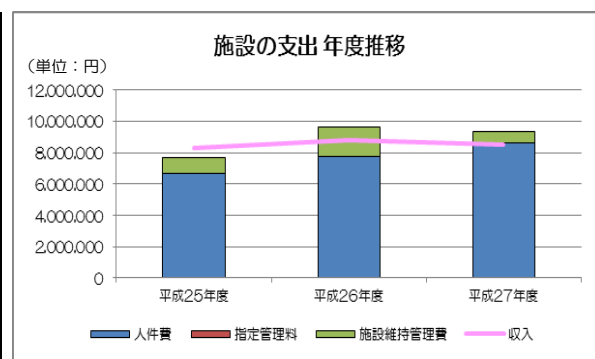
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	18,759,800	20,109,960	22,642,680
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	2,434,709	2,603,629	3,334,153
支出合計	21,194,509	22,713,589	25,976,833
収入	27,169,820	28,315,820	27,897,050



《上野保育園》

(単位: 円)

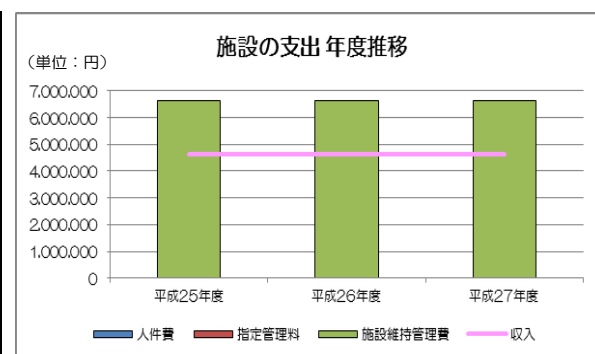
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	6,686,740	7,766,330	8,658,140
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	979,000	1,857,773	699,003
支出合計	7,665,740	9,624,103	9,357,143
収入	8,276,680	8,782,250	8,526,750



《御船みるく病児保育室》

(単位: 円)

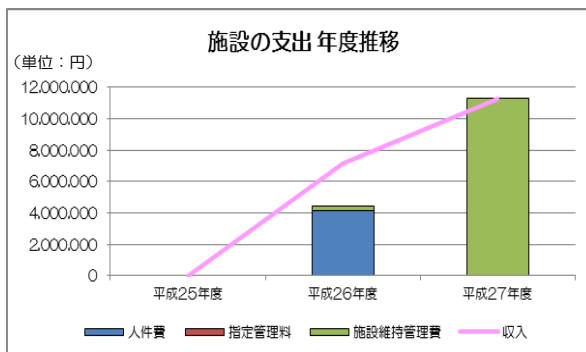
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	6,650,000	6,650,000	6,650,000
支出合計	6,650,000	6,650,000	6,650,000
収入	4,642,000	4,642,000	4,642,000



《子育てふれあい館》

(単位：円)

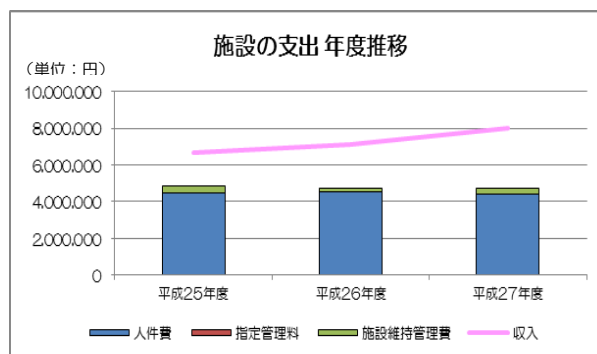
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	4,172,134	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	233,073	11,290,000
支出合計	0	4,405,207	11,290,000
収入	0	7,160,000	11,290,000



《御船学童保育どんぐりクラブ》

(単位：円)

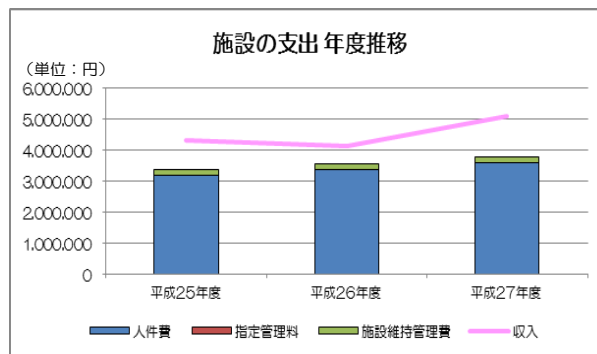
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	4,450,471	4,522,103	4,425,663
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	390,115	195,422	317,726
支出合計	4,840,586	4,717,525	4,743,389
収入	6,666,020	7,110,434	7,988,143



《木倉学童保育あけぼのクラブ》

(単位：円)

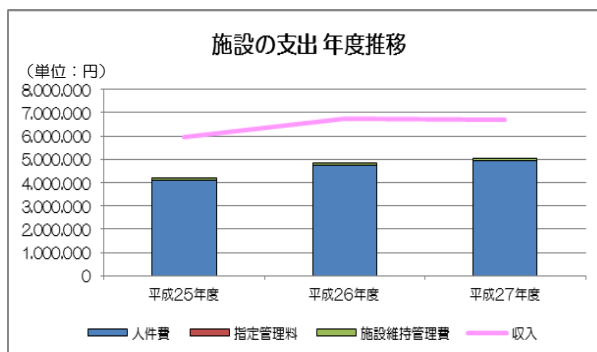
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	3,191,417	3,388,545	3,608,452
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	189,439	179,156	174,370
支出合計	3,380,856	3,567,701	3,782,822
収入	4,314,409	4,130,197	5,101,848



《御船学童保育くるみクラブ》

(単位：円)

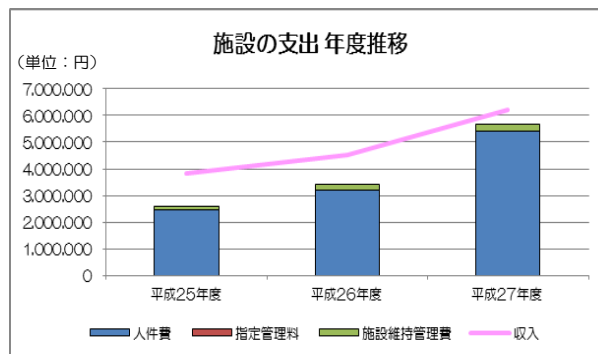
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	4,111,240	4,758,060	4,948,462
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	98,199	94,302	83,037
支出合計	4,209,439	4,852,362	5,031,499
収入	5,935,000	6,752,023	6,705,000



《高木学童保育うさぎクラブ》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	2,450,120	3,213,376	5,422,260
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	152,065	203,152	232,392
支出合計	2,602,185	3,416,528	5,654,652
収入	3,824,743	4,521,041	6,218,500



平成 28 年熊本地震における被害状況

高木保育園の園舎は、使用が困難なため旧恐竜博物館を仮園舎として使用しています。

上野保育園は平成 26 年度に新園舎を落成し、地震により水道設備等の被害はあったものの、避難所としての使用ができる状態です。

②施設の基本方針

すべての施設において、適切な維持管理による更新を基本としますが、利用ニーズや社会状況の変化等を踏まえながら施設の維持改修、規模の見直しを図ります。

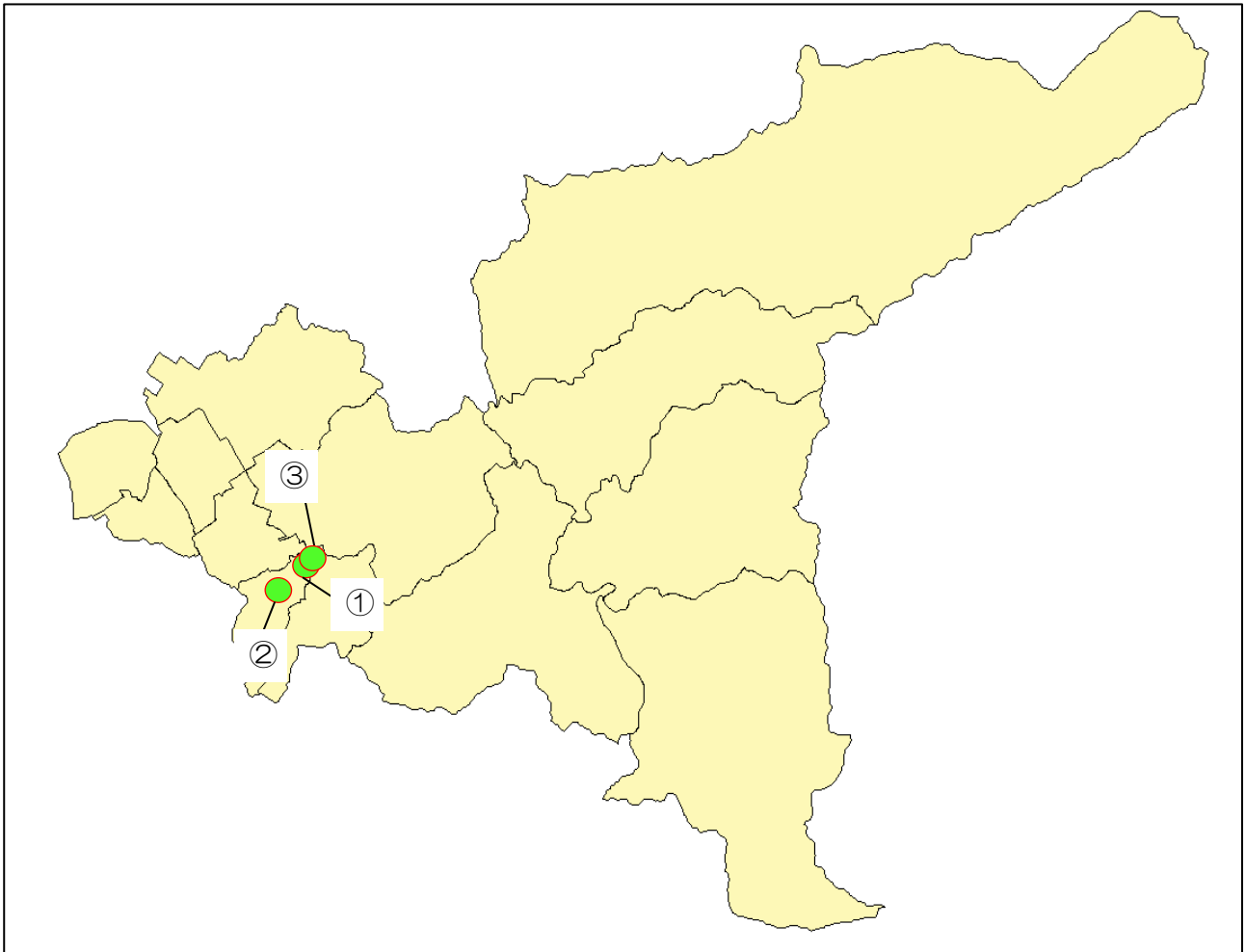
高木保育園は、今後民営化の方向で施設の運営について検討を進めます。

御船学童保育どんぐりクラブ、木倉学童保育あけぼのクラブ、御船学童保育くるみクラブは新しい建物であり、今後、予防保全を実施することで、施設を良好な状態に保つよう努めます。

6. 保健・福祉施設

①施設状況

施設配置の状況



①御船町コミュニティセンター ひばり荘 ②老人憩の家 ③保健センター

施設概要

施設数：3 施設

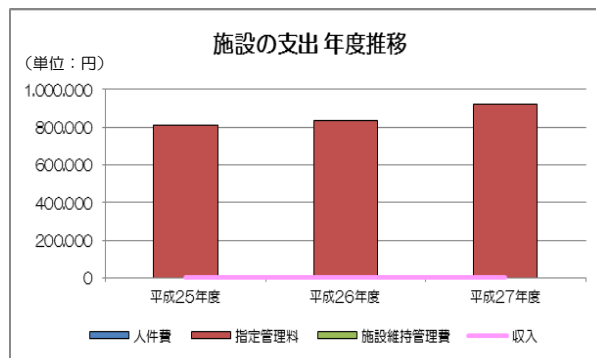
本町が所有する保健・福祉施設の概要は以下です。

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	御船町コミュニティセンター ひばり荘	コミュニティセンター	大 字 御 船 1001 番地の 1	348.00	木造	昭和 57	34
		ひばり荘裏倉庫		不明	不明	不明	-
②	老人憩の家	憩の家	大 字 御 船 7 2 6 番 地	429.00	鉄骨コンクリート	昭和 48	43
③	保健センター	保健センター	大 字 御 船 995 番 地 1	620.68	鉄筋コンクリート	昭和 60	31

コストと収入の状況

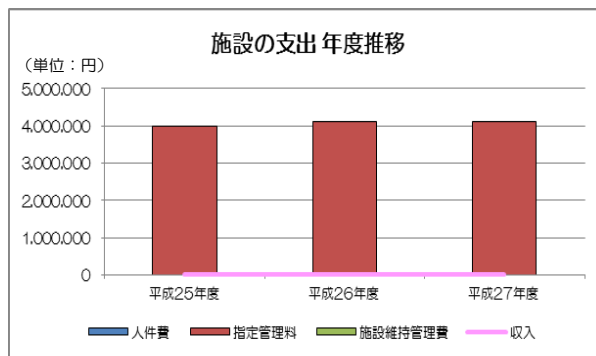
《御船町コミュニティセンター ひばり荘》 (単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	810,000	834,000	921,588
施設維持管理費	0	0	0
支出合計	810,000	834,000	921,588
収入	0	0	0



《老人憩の家》 (単位：円)

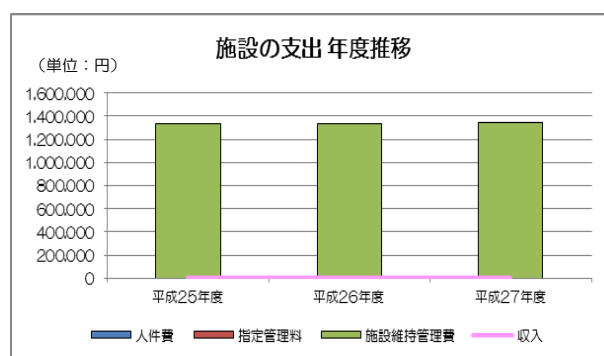
コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	4,000,000	4,115,000	4,115,000
施設維持管理費	0	0	0
支出合計	4,000,000	4,115,000	4,115,000
収入	0	0	0



《保健センター》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	1,337,000	1,331,000	1,344,000
支出合計	1,337,000	1,331,000	1,344,000
収入	0	0	0



平成 28 年熊本地震における被害状況

保健センターは、廊下の窓ガラスが亀裂・崩壊し、調理室のエアコンは使用不能となっておりますが、現在は修理を終え使用可能です。

②施設の基本方針

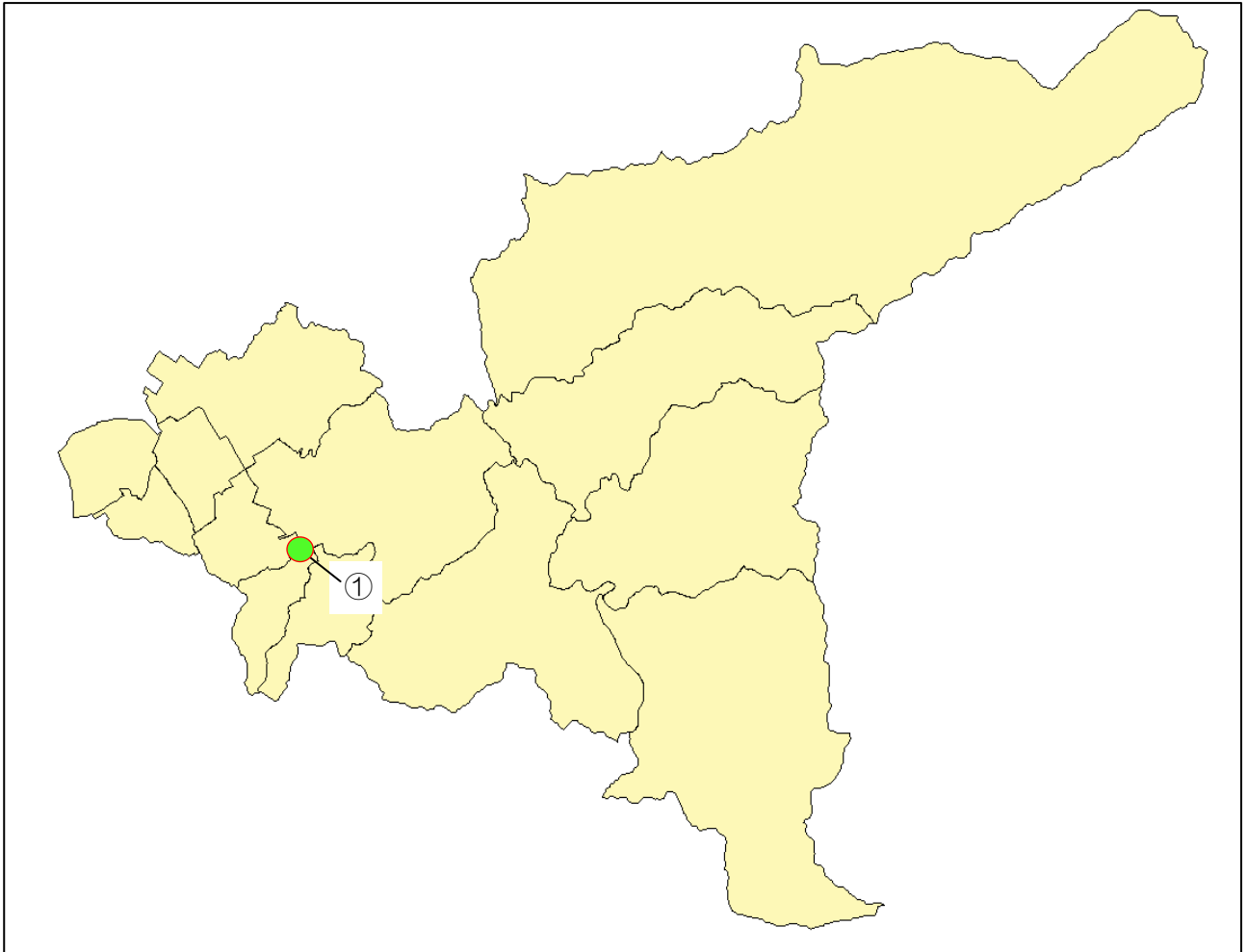
保健センターについては、老朽化の進行やエレベーターがないなど機能面での改善点があるため、今後、複合化も考慮しながら建替え時期について検討します。

また施設状況を的確に把握し管理するため、管理データを整備し、定期点検を行って予防保全を前提とした維持管理を実施します。さらに利用者数やニーズ等を把握しながら適切な維持管理を行います。

7. 行政系施設

①施設状況

施設配置の状況



①御船町役場

施設概要

施設数：1 施設

本町が所有する行政系施設の概要は以下です。

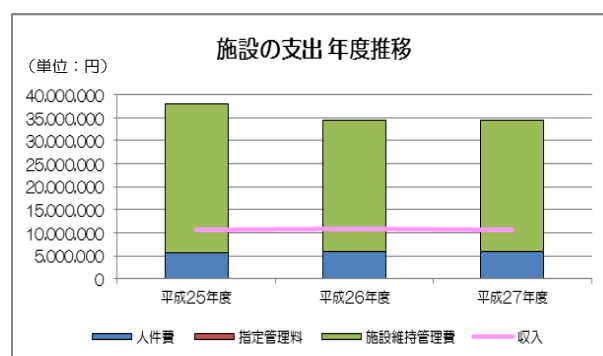
番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	御船町役場	庁舎	大 字 御 船 995 番地の 1	3,559.00	鉄筋コンクリート	昭和 59	32
		庁舎分室		265.56	鉄骨造	平成 14	14
		倉庫		113.00	鉄骨造	不明	-

コストと収入の状況

《御船町役場》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	5,746,720	5,880,000	5,825,120
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	32,253,669	28,453,249	28,688,406
支出合計	38,000,389	34,333,249	34,513,526
収入	10,620,163	10,811,281	10,552,226



平成 28 年熊本地震における被害状況

役場 3 階の議場は地震により使用不能な状態になりましたが、現在は修理を終え、使用可能です。議場以外は大きな破損はなかったものの、所々タイルのはがれや亀裂等があり、今後修復を行う予定です。

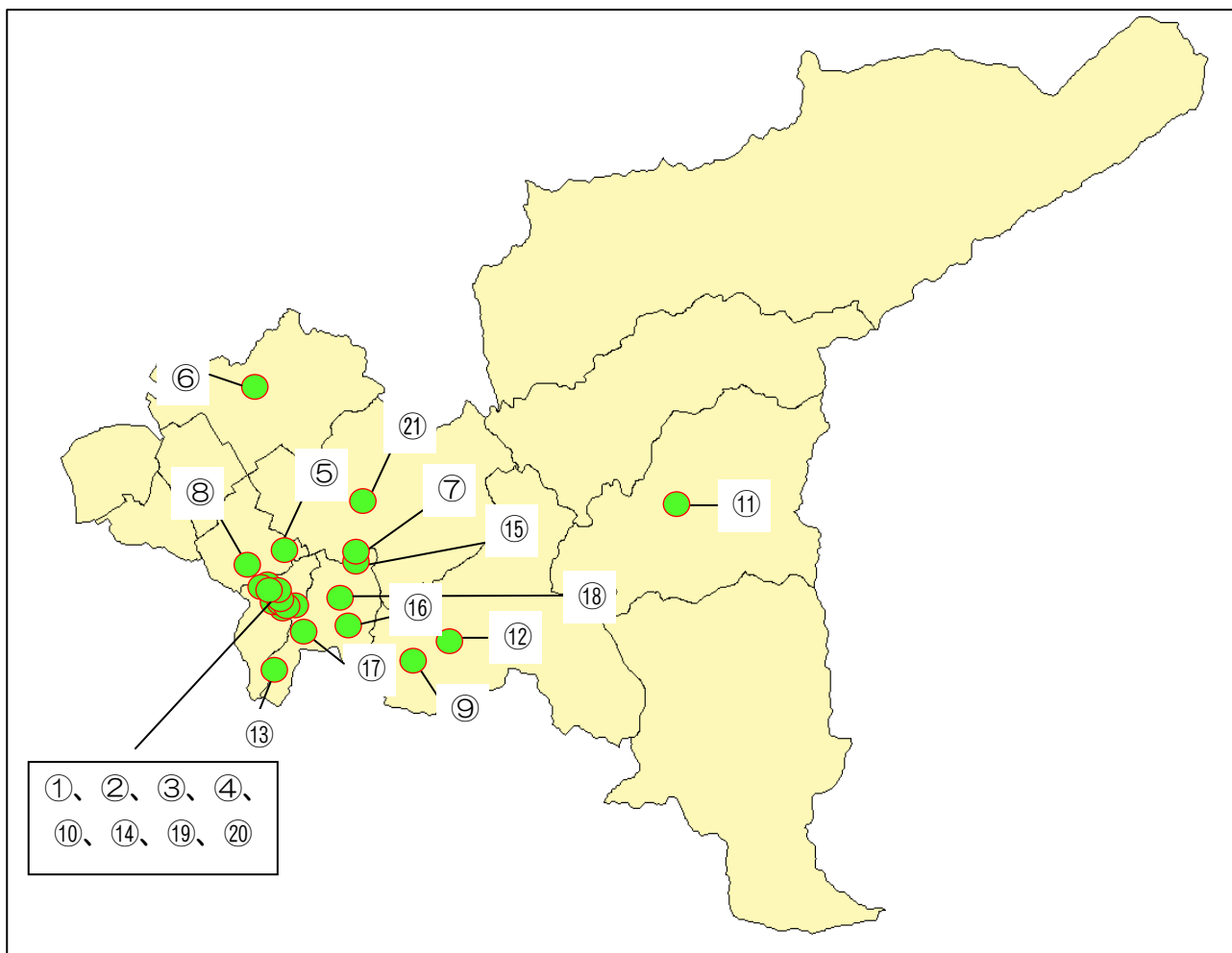
②施設の基本方針

役場庁舎は建築後 30 年を経過しようとしています。建物については、一般的に建築後 30 年が老朽化判定のひとつの目安となっており、計画的に施設の改修・建替え等について検討します。また災害時には拠点となる施設のため、安全確保に努めます。さらに多くの住民が利用するため、日常的に清掃や維持管理に伴う点検等を適切に実施することとします。

8. 公営住宅

①施設状況

施設配置の状況



- ①町営住宅 1 丁目団地 ②町営住宅 2 丁目団地 ③町営住宅 4 丁目団地 ④町営住宅 5 丁目団地
⑤町営住宅旭町団地 ⑥町営住宅下高野団地 ⑦町営住宅観音院団地 ⑧町営住宅牛ヶ瀬団地
⑨町営住宅玉虫団地 ⑩町営住宅桜坂団地 ⑪町営住宅七滝団地 ⑫町営住宅滝尾団地
⑬町営住宅中原団地 ⑭町営住宅町園団地 ⑮町営住宅辻団地 ⑯町営住宅東禅寺団地
⑰町営住宅平原団地 ⑱町営住宅辺田見団地 ⑲町営住宅妙見坂団地 ⑳町営住宅茂生寺団地
㉑町営住宅木倉団地

施設概要

施設数：21 施設

本町が所有する公営住宅の概要は以下です。

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	町営住宅 1 丁目団地	37-1 号	大 字 辺 田 見 1296 番地	36.36	木造	昭和 37	54
		37-2 号		36.36	木造	昭和 37	54
		37-3 号		36.36	木造	昭和 37	54
		37-4 号		36.36	木造	昭和 37	54
②	町営住宅 2 丁目団地	30-1 号	大 字 御 船 732 番地	34.65	木造	昭和 30	61
		30-4 号		34.65	木造	昭和 30	61
		30-5 号		34.65	木造	昭和 30	61
		30-6 号		34.65	木造	昭和 30	61
		30-7 号		34.65	木造	昭和 30	61
		30-9 号		34.65	木造	昭和 30	61
		30-10 号		34.65	木造	昭和 30	61
		37-8 号		36.36	木造	昭和 37	54
		37-9 号		36.36	木造	昭和 37	54
③	町営住宅 4 丁目団地	31-6 号	大 字 御 船 654 番地	34.65	木造	昭和 31	60
		31-7 号		34.65	木造	昭和 31	60
		31-12 号		34.65	木造	昭和 31	60
		31-15 号		34.65	木造	昭和 31	60
④	町営住宅 5 丁目団地	30-11 号・12 号	大 字 御 船 711 番地 1	56.10	木造	昭和 30	61
		30-13 号・14 号		56.10	木造	昭和 30	61
		30-15 号・16 号		56.10	木造	昭和 30	61
		30-17 号・18 号		56.10	木造	昭和 30	61
		30-19 号・20 号		56.10	木造	昭和 30	61
⑤	町営住宅旭 町団地	29-8 号	大 字 滝 川 9 3 番 地	34.65	木造	昭和 29	62
		29-10 号		34.65	木造	昭和 29	62
		29-12 号		34.65	木造	昭和 29	62
		29-14 号		34.65	木造	昭和 29	62
⑥	町営住宅下 高野団地	240 号～243 号	大 字 高 木 1 8 9 9 番 地	204.08	コンクリートブロック	昭和 51	40
		244 号～247 号		204.08	コンクリートブロック	昭和 51	40
		248 号～251 号		204.08	コンクリートブロック	昭和 51	40
		252 号～255 号		192.40	コンクリートブロック	昭和 51	40

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
⑦	町営住宅観 音院団地	201号～204号	大 字 木 倉 1686 番地 3	147.36	コンクリートブロック	昭和 45	46
		205号～208号		147.36	コンクリートブロック	昭和 45	46
		209号～212号		132.40	コンクリートブロック	昭和 45	46
		213号～216号		132.40	コンクリートブロック	昭和 45	46
		217号～220号		147.36	コンクリートブロック	昭和 46	45
		221号～224号		147.36	コンクリートブロック	昭和 46	45
		225号～228号		132.40	コンクリートブロック	昭和 46	45
⑧	町営住宅牛 ヶ瀬団地	28-6号	大 字 滝 川 1612 番地	34.65	木造	昭和 28	63
		28-9号		34.65	木造	昭和 28	63
		28-12号		34.65	木造	昭和 28	63
		28-13号		34.65	木造	昭和 28	63
		28-14号		34.65	木造	昭和 28	63
		28-15号		34.65	木造	昭和 28	63
		29-1号		34.65	木造	昭和 29	62
		29-2号		34.65	木造	昭和 29	62
		29-3号		34.65	木造	昭和 29	62
		29-4号		34.65	木造	昭和 29	62
		29-5号		34.65	木造	昭和 29	62
		31-1号		34.65	木造	昭和 31	60
		31-2号		34.65	木造	昭和 31	60
		31-3号		34.65	木造	昭和 31	60
		31-3号		34.65	木造	昭和 31	60
		31-5号		34.65	木造	昭和 31	60
⑨	町営住宅玉 虫団地	1棟	大 字 滝 尾 6228 番地	274.80	コンクリートブロック	昭和 59	32
		2棟		274.80	コンクリートブロック	昭和 59	32
		3棟		258.40	コンクリートブロック	昭和 55	36
		4棟		258.40	コンクリートブロック	昭和 55	36
		5棟		258.40	コンクリートブロック	昭和 56	35
		6棟		258.40	コンクリートブロック	昭和 56	35
		7棟		274.80	コンクリートブロック	昭和 55	36
		8棟		274.80	コンクリートブロック	昭和 55	36
		9棟		274.80	コンクリートブロック	昭和 56	35
		10棟		274.80	コンクリートブロック	昭和 56	35
		11棟		258.40	コンクリートブロック	昭和 57	34
		12棟		258.40	コンクリートブロック	昭和 57	34

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
		13 棟		274.80	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 57	34
		14 棟		274.80	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 57	34
		15 棟		274.80	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 58	33
		16 棟		274.80	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 58	33
		17 棟		274.80	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 59	32
		18 棟		258.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 58	33
		19 棟		258.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 58	33
		20 棟		258.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 58	33
		21 棟		274.80	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 58	33
		22 棟		258.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 60	31
		集会場		不明	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	不明	-
⑩	町営住宅桜 坂団地	32-1 号	大 字 御 船 5 8 2 番 地	28.05	木造	昭和 32	59
		32-2 号		28.05	木造	昭和 32	59
		32-3 号		28.05	木造	昭和 32	59
⑪	町営住宅七 滝団地	300 号～303 号	大 字 七 滝 2 1 2 4 番 地	258.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 60	31
⑫	町営住宅滝 尾団地	256 号～259 号	大 字 滝 尾 3 7 6 番 地	235.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 52	39
		260 号～263 号		235.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 52	39
		264 号～267 号		192.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 52	39
		268 号～271 号		192.40	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 52	39
⑬	町営住宅中 原団地	住宅 59 棟 集会場 1 棟	大 字 辺 田 見 1 8 0 0 番 地	合計 8,213.94	木造：38 棟 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ：22 棟	昭和 63 ～平成 6	28 ～ 22
⑭	町営住宅町 園団地	32-3 号	大 字 御 船 7 8 4 番 地 2	34.65	木造	昭和 32	59
		32-4 号		34.65	木造	昭和 32	59
		32-5 号		34.65	木造	昭和 32	59
		32-7 号		34.65	木造	昭和 32	59
		32-8 号		34.65	木造	昭和 32	59
		32-10 号		34.65	木造	昭和 32	59
⑮	町営住宅辻 団地	272 号～275 号	大 字 辺 田 見 7 9 4 番 地	240.48	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 53	38
		276 号～279 号		240.48	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 53	38
		280 号～283 号		240.48	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 53	38
		284 号～287 号		240.48	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 53	38
		288 号～291 号		258.56	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 54	37
		292 号～295 号		258.56	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	昭和 54	37

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
		296号～299号		240.48	コンクリートブロック	昭和54	37
		300号～303号		240.48	コンクリートブロック	昭和54	37
⑩	町営住宅東 禅寺団地	41-29号～32号	大字 辺田見 852番地	147.20	コンクリートブロック	昭和41	50
		41-33号～36号		126.00	コンクリートブロック	昭和41	50
		41-37号		31.50	コンクリートブロック	昭和41	50
		41-39号～43号		126.00	コンクリートブロック	昭和41	50
		41-45号・46号		63.00	コンクリートブロック	昭和41	50
		42-47号～51号		126.00	コンクリートブロック	昭和42	49
		42-52号～55号		126.00	コンクリートブロック	昭和42	49
		42-56号～59号		126.00	コンクリートブロック	昭和42	49
		42-60号～63号		126.00	コンクリートブロック	昭和42	49
		42-64号～67号		126.00	コンクリートブロック	昭和42	49
		集会場		不明	木造	不明	-
⑪	町営住宅平 原団地	40-1号～4号	大字 辺田見 1541番地	126.40	コンクリートブロック	昭和40	51
		40-5号～8号		126.40	コンクリートブロック	昭和40	51
		40-9号～12号		126.40	コンクリートブロック	昭和40	51
		40-13号～16号		126.40	コンクリートブロック	昭和40	51
		40-17号～20号		126.40	コンクリートブロック	昭和40	51
		40-21号・22号		63.20	コンクリートブロック	昭和40	51
		40-23号・24号		63.20	コンクリートブロック	昭和40	51
⑫	町営住宅辺 田見団地	31-19号	大字 辺田見 575番地	28.05	木造	昭和31	60
⑬	町営住宅妙 見坂団地	225号～229号	大字 辺田見 750番地5	237.00	コンクリートブロック	昭和50	41
		230号～234号		237.00	コンクリートブロック	昭和50	41
		225号～228号		222.50	コンクリートブロック	昭和50	41
⑭	町営住宅茂 生寺団地	28-3号	大字 辺田見 1222番地	28.05	木造	昭和28	63
		28-5号		28.05	木造	昭和28	63
		29-1号		28.05	木造	昭和29	62
		37-1号・2号		62.70	木造	昭和37	54
		37-3号		31.35	木造	昭和37	54
		37-5号		31.35	木造	昭和37	54
		37-8号		31.35	木造	昭和37	54
		37-10号		31.35	木造	昭和37	54
⑮	町営住宅木 倉団地	40-1号・2号	大字 木倉 812番地1	67.20	木造	昭和40	51
		40-3号・4号		67.20	木造	昭和40	51

番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
		40-5号・6号		67.20	木造	昭和 40	51
		217号・218号		67.20	木造	昭和 40	51

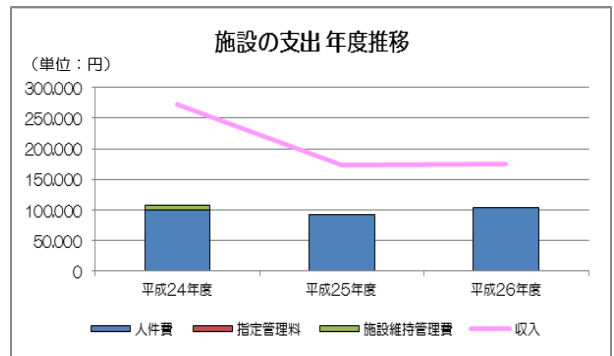
コストと収入の状況

※公営住宅のコストと収入の状況については、平成 24 年度～平成 26 年度の 3 か年分で記載しています。

《町営住宅 1 丁目団地》

(単位：円)

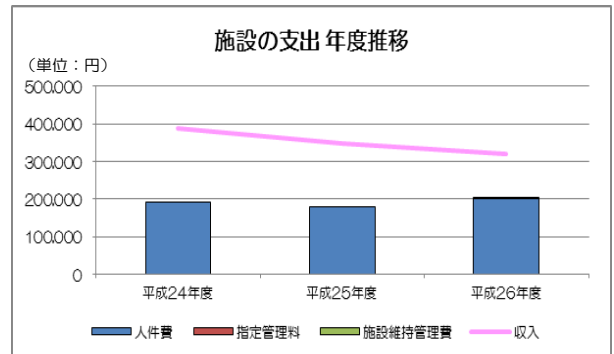
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	99,734	92,082	103,327
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	7,920	0	0
支出合計	107,654	92,082	103,327
収入	273,600	174,000	175,500



《町営住宅 2 丁目団地》

(単位：円)

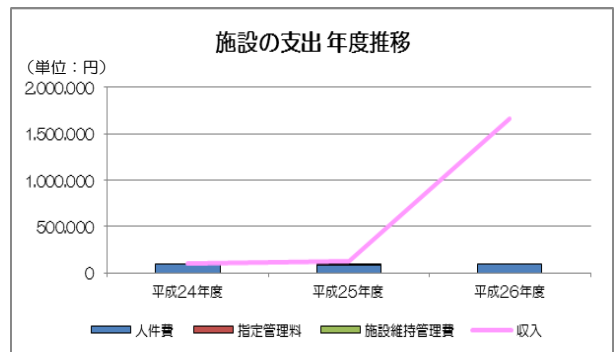
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	192,432	177,669	199,280
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	0	4,200
支出合計	192,432	177,669	203,480
収入	387,600	347,800	319,200



《町営住宅 4 丁目団地》

(単位：円)

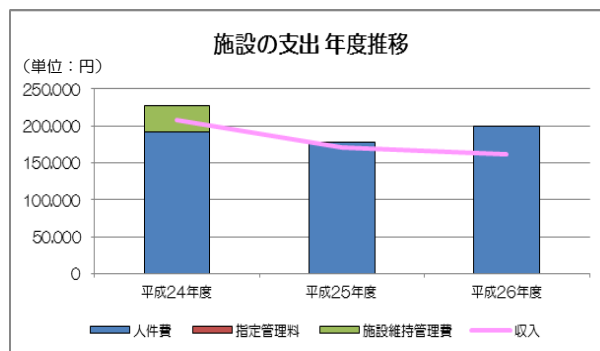
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	95,044	87,752	98,468
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	8,140	0
支出合計	95,044	95,892	98,468
収入	108,000	129,400	1,664,400



《町営住宅5丁目団地》

(単位:円)

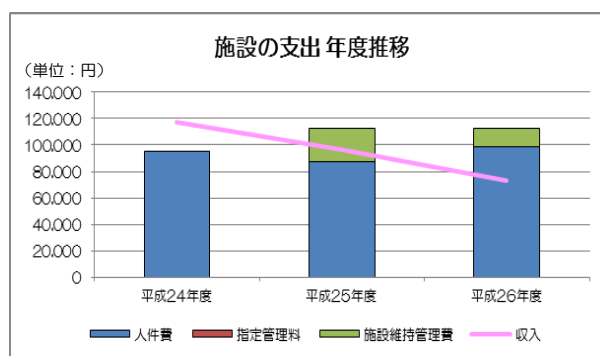
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	192,350	177,593	199,280
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	34,935	0	0
支出合計	227,285	177,593	199,280
収入	207,600	170,400	162,000



《町営住宅旭町団地》

(単位:円)

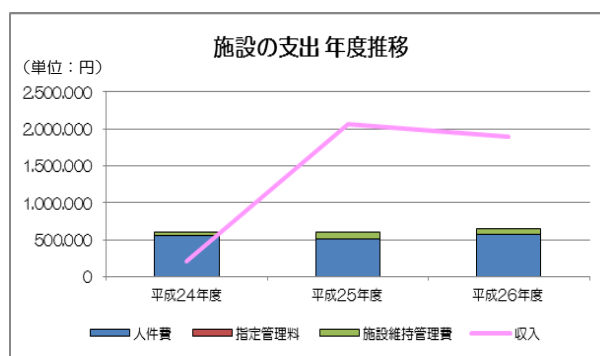
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	95,044	87,752	98,468
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	24,990	13,672
支出合計	95,044	112,742	112,140
収入	117,600	96,200	73,200



《町営住宅下高野団地》

(単位:円)

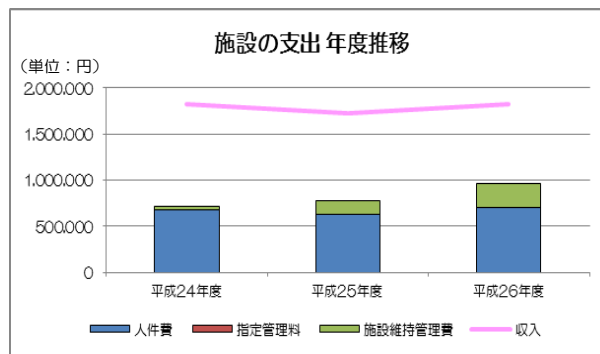
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	551,774	509,441	571,652
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	50,400	96,455	75,408
支出合計	602,174	605,896	647,060
収入	206,800	2,056,800	1,888,800



《町営住宅観音院団地》

(単位:円)

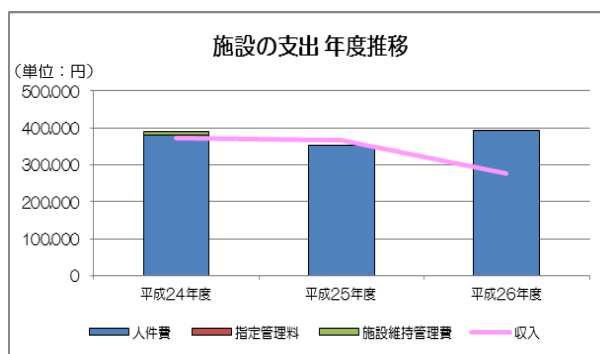
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	676,579	624,670	700,953
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	45,540	150,829	262,341
支出合計	722,119	775,499	963,294
収入	1,821,600	1,727,000	1,823,000



《町営住宅牛ヶ瀬団地》

(単位:円)

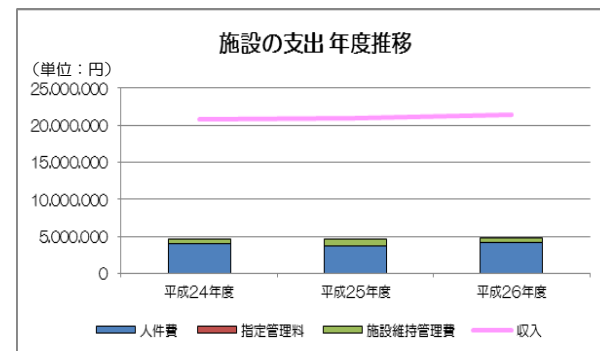
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	380,174	351,006	393,871
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	10,280	0	0
支出合計	390,454	351,006	393,871
収入	372,200	364,800	276,600



《町営住宅玉虫団地》

(単位:円)

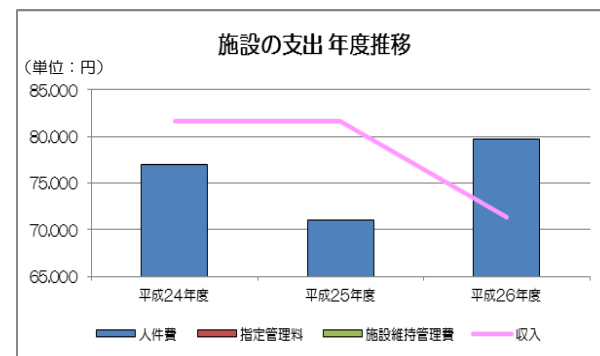
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	4,028,395	3,719,326	4,173,523
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	644,236	863,107	626,869
支出合計	4,672,631	4,582,433	4,800,392
収入	20,788,800	20,868,400	21,369,300



《町営住宅桜坂団地》

(単位:円)

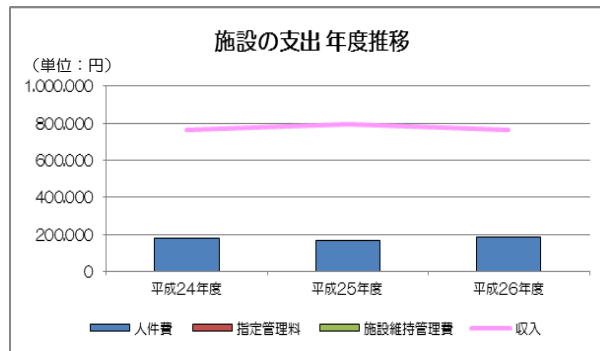
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	76,940	71,037	79,712
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	0	0
支出合計	76,940	71,037	79,712
収入	81,600	81,600	71,400



《町営住宅七滝団地》

(単位:円)

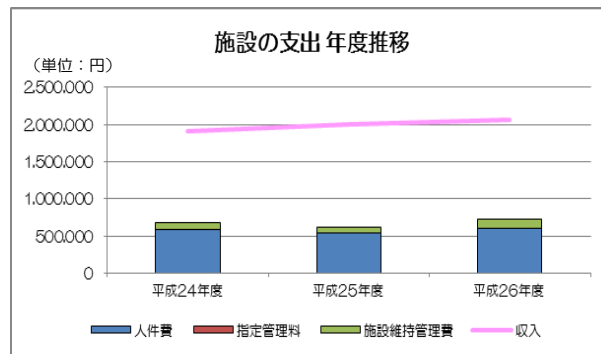
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	177,305	163,702	183,693
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	0	0
支出合計	177,305	163,702	183,693
収入	763,200	792,000	763,200



《町営住宅滝尾団地》

(単位：円)

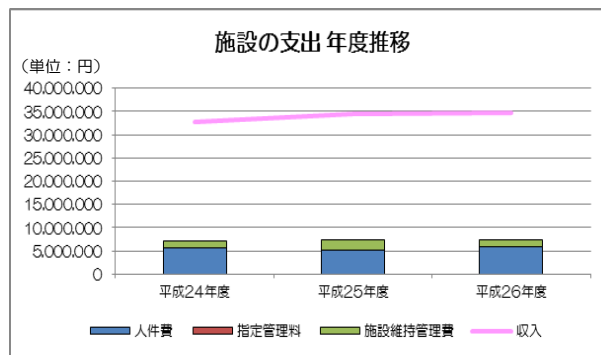
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	586,719	541,705	607,857
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	90,389	76,734	118,666
支出合計	677,108	618,439	726,523
収入	1,912,200	2,001,900	2,059,200



《町営住宅中原団地》

(単位：円)

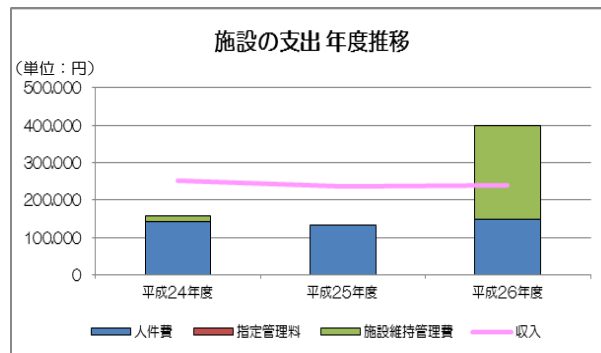
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	5,632,684	5,200,531	5,835,608
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	1,521,663	2,273,289	1,615,030
支出合計	7,154,347	7,473,820	7,450,638
収入	32,792,300	34,483,700	34,752,500



《町営住宅町園団地》

(単位：円)

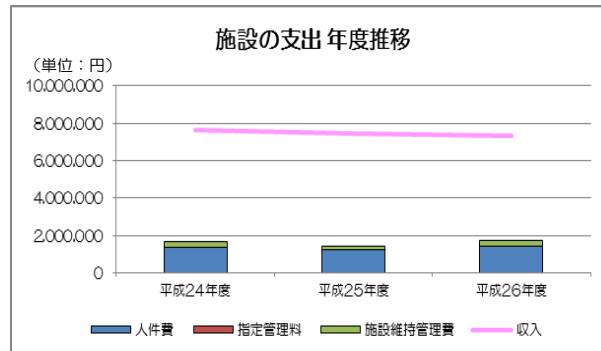
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	142,565	131,627	147,701
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	16,170	0	251,100
支出合計	158,735	131,627	398,801
収入	250,200	237,600	238,800



《町営住宅辻団地》

(単位：円)

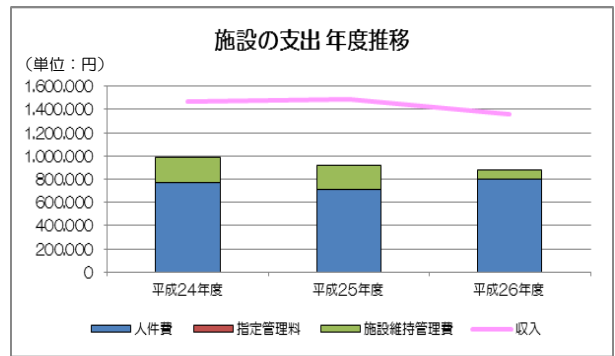
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	1,344,051	1,240,932	1,392,472
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	294,607	192,288	307,584
支出合計	1,638,658	1,433,220	1,700,056
収入	7,647,100	7,469,900	7,341,200



《町営住宅東禅寺団地》

(単位:円)

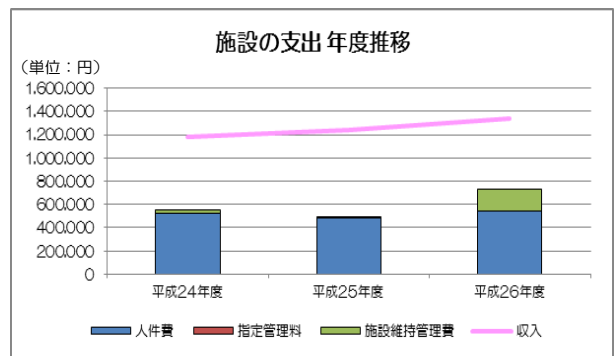
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	770,566	711,447	798,327
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	220,492	211,667	80,416
支出合計	991,058	923,114	878,743
収入	1,470,800	1,491,800	1,362,200



《町営住宅平原団地》

(単位:円)

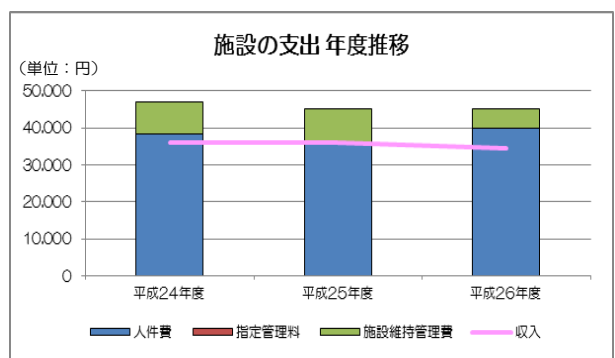
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	520,065	480,165	538,801
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	36,618	5,239	189,292
支出合計	556,683	485,404	728,093
収入	1,184,900	1,244,200	1,339,700



《町営住宅辺田見団地》

(単位:円)

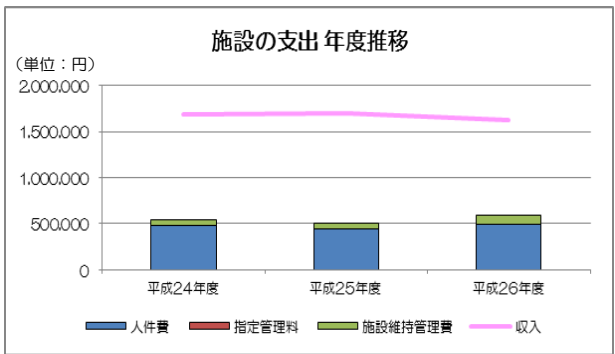
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	38,470	35,519	39,856
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	8,400	9,500	5,250
支出合計	46,870	45,019	45,106
収入	36,000	36,000	34,500



《町営住宅妙見坂団地》

(単位:円)

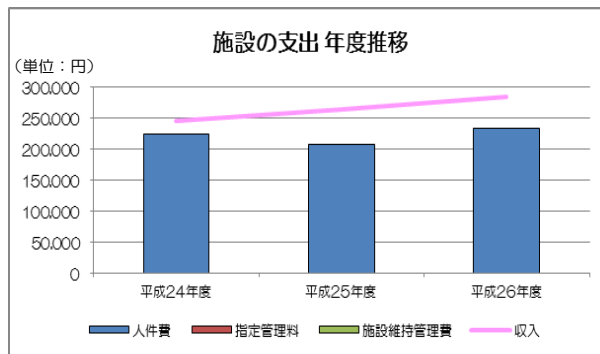
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	477,618	440,974	494,825
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	69,860	65,554	100,238
支出合計	547,478	506,528	595,063
収入	1,688,000	1,700,300	1,630,200



《町営住宅茂生寺団地》

(単位：円)

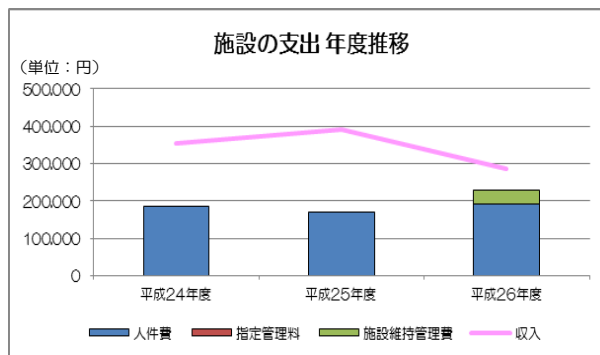
コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	225,163	207,888	233,275
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	0	0
支出合計	225,163	207,888	233,275
収入	246,000	264,000	285,600



《町営住宅木倉団地》

(単位：円)

コスト分類	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人件費	184,327	170,185	190,968
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	0	38,620
支出合計	184,327	170,185	229,588
収入	352,800	391,200	285,400



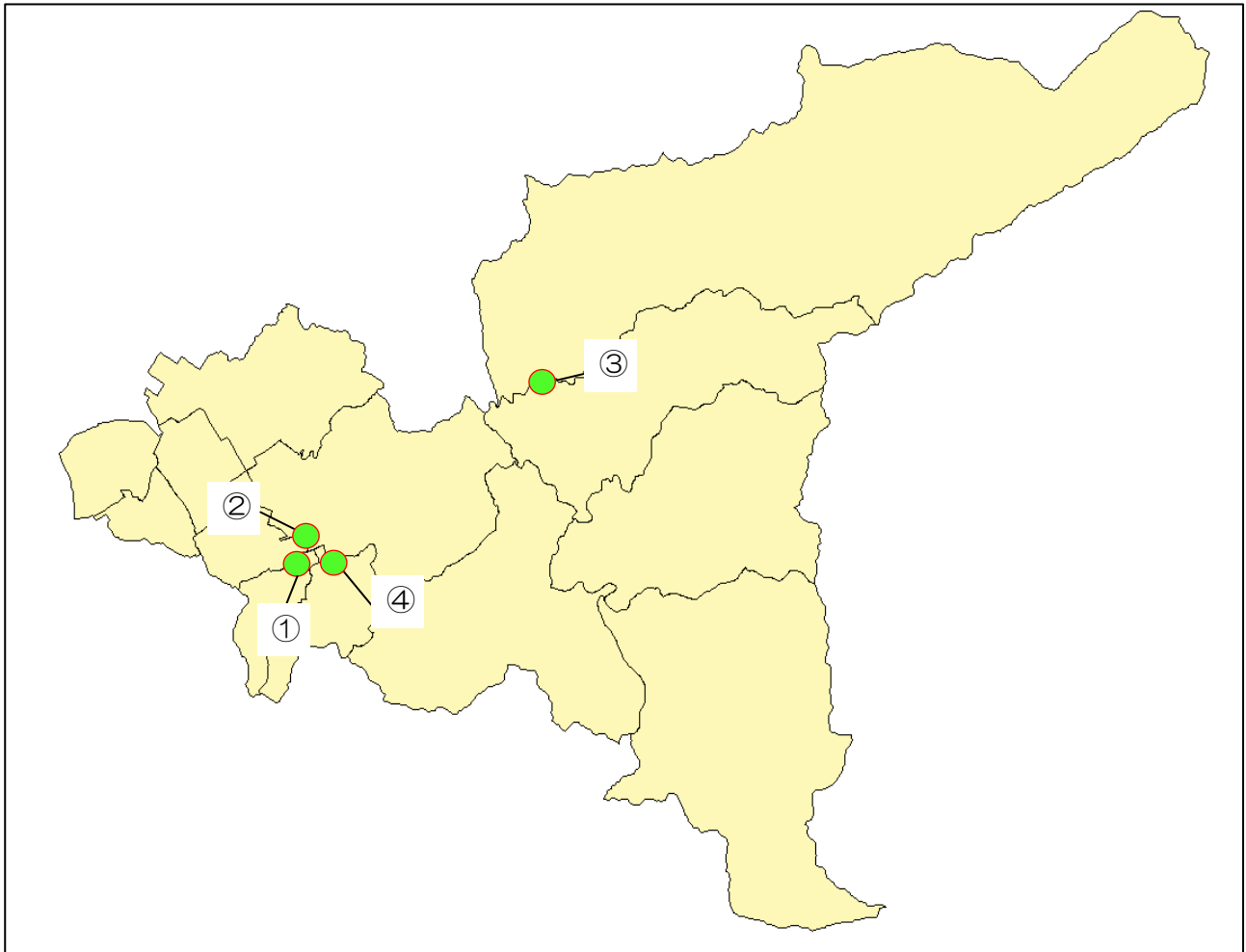
②施設の基本方針

昭和 28 年度から平成 6 年度のあいだに 21 件の公営住宅が建設されました。公営住宅の多くは耐用年数を過ぎており、屋根、床、柱、雨漏りの修理、防水補修等が必要となっています。建物の老朽化に伴い、修繕箇所が出てきているため、居住に際して支障がないよう補修等を行い、住環境の向上に努めます。また「御船町営住宅等長寿命化計画」を策定しており、同計画に沿った施設の維持管理を行います。

9. 公園

①施設状況

施設配置の状況



①城山公園 ②西往還遊園地 ③天君ダム周囲公園 ④ふれあい広場

施設概要

施設数：4施設

本町が所有する公園の概要は以下です。

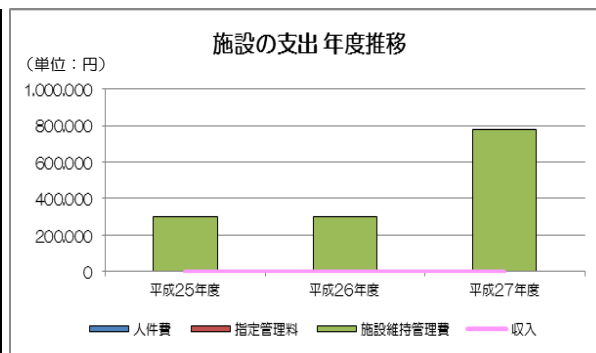
番号	施設名称	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
①	城山公園	-	大 字 御 船 966 番地	-	-	-	-
②	西往還遊園 地	-	大 字 木 倉 1135 番地 1	-	-	-	-
③	天君ダム周 囲公園	-	大 字 上 野	-	-	-	-
④	ふれあい広 場	トイレ大	大 字 辺 田 見 100 番地	105.77	鉄筋コンクリート	平成 25	3
		トイレ小		20.39	鉄筋コンクリート	平成 25	3
		倉庫（2棟）		27.08	軽量鉄骨造	平成 25	3
		東屋（2棟）		21.78	鉄骨造	平成 25	3

コストと収入の状況

《城山公園》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	300,000	300,000	776,727
支出合計	300,000	300,000	776,727
収入	0	0	0



《西往還遊園地》

※電灯もなく修繕も発生していないため、コストはかかっていません

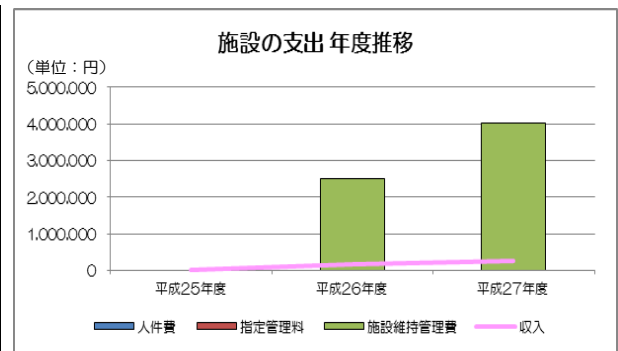
《天君ダム周囲公園》

※電灯もなく修繕も発生していないため、コストはかかっていません

《ふれあい広場》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	0	0	0
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	0	2,496,324	4,004,616
支出合計	0	2,496,324	4,004,616
収入	0	170,400	255,600



②施設の基本方針

公園は町民の憩いの場及びレクリエーションの場であるため、今後も遊具等公園施設の定期点検を適切に実施し、不具合が見つかった場合には速やかに対策を行い、公園利用者の安全確保に努めます。また施設の機能保全を図るため、長寿命化についても取り組みます。

2 土木系公共施設

1. 道路（道路・橋梁）

①施設状況

道路・橋梁の概要

区分	道路部面積（㎡）	実延長（m）
道路	1,225,669.00	254,005.00

区分	種別	橋梁面積（㎡）	橋梁数（箇所）
橋梁	PC橋	5206.55	27
	RC橋	4973.44	86
	鋼橋	574.28	7
	石橋	174.78	5
	その他	47.72	2
	合 計	10,976.77	127

②施設の基本方針

道路・橋梁については、住民の日常生活上欠かすことのできない施設であるため、本町の将来の維持管理に係る財政負担を考慮しつつ、以下方針に沿って適切に維持管理を行います。

●適正な法定点検・定期点検の実施及び職員の知識・技術の伝承を行い、施設の不具合等の把握に努めます。

●老朽化による事故等が発生しないよう、万全の対策を講じるとともに、事後保全から予防保全への転換を図り、危険箇所の早期発見・早期修繕を行います。

●耐震性が不十分なものについては、各個別施設計画に従い、着実に耐震性能を向上させるようにします。

●財政状況を勘案しながら維持管理コストの縮減や平準化に努めます。

●長期間にわたって、安心安全に使用できるよう、長寿命化を図ります。

3 企業会計施設

1. 上・下水道施設

①施設状況

上水道

水道事業（法適用企業）

供用開始年月日	S44 年 7 月
導水管延長	9.02 千m
送水管延長	16.80 千m
配水管延長	170.67 千m
浄水場施設数	14 箇所
配水池等施設数	49 箇所

下水道

公共下水道事業（法非適用企業）

供用開始年月日			H6 年 3 月
普及状況	全体計画人口		9,605 人
	現在排水区域内人口		8,219 人
	現在処理区域内人口		8,219 人
	現在水洗便所設置済人口		6,642 人
	全体計画面積		340 ha
	現在排水区域面積		271 ha
	現在処理区域面積		271 ha
管渠	下水管布設延長		72 km
	種別	污水管	61 km
		雨水管	11 km
		合流管	— km

平成 28 年熊本地震における被害状況

上水道施設は、送配水管・給水管の破損により、庁内全域にわたり断水が発生し、町営住宅中原団地を除いて断水が解消されたのは、5月末となりました。下水道施設は、施設内の水道管の破損、水処理施設の破損、建物まわりの地盤沈下がみられます。また、数日間施設への水道が断水しており、運転への支障がありました。

②施設の基本方針

上・下水道施設については、住民の日常生活上欠かすことのできない施設であるため、本町の将来の維持管理に係る財政負担を考慮しつつ、以下方針に沿って適切に維持管理を行います。

●適正な法定点検・定期点検を行い、点検記録を残し、施設の不具合等の把握に努めます。

●機械・電気設備等は経年劣化がみられるものもあるため、修繕に関する計画的な実施体制を構築し、施設の長寿命化を図り、維持管理に要する費用を縮減します。

●御船浄水センターについては、平成 30 年度に耐震診断を行う予定です。また滝川汚水中継ポンプ場については、平成 31 年度に耐震診断を行う予定です。

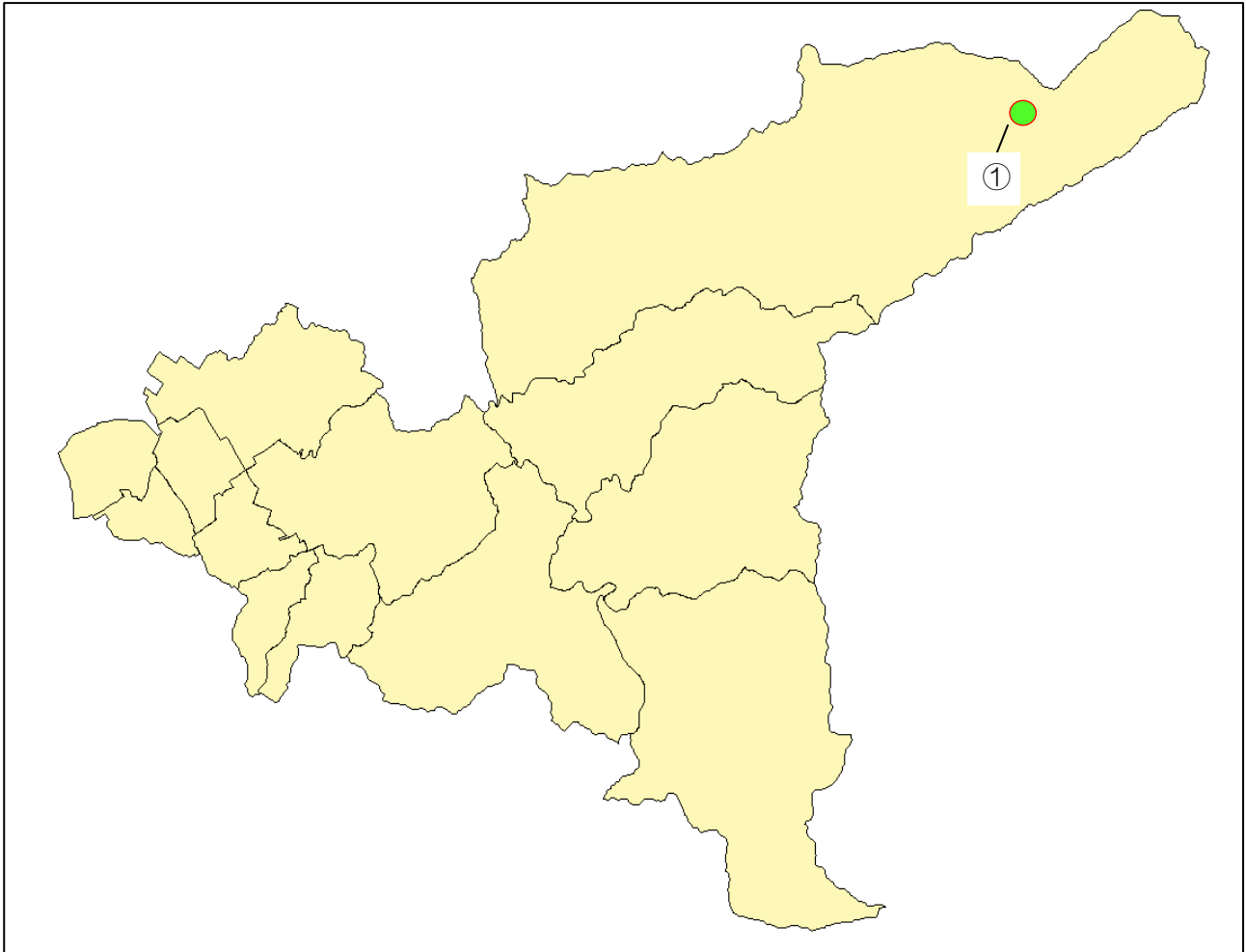
●将来にわたって、安定的な供給が確保できるよう、中長期的な視点に立った計画的、効率的な整備・更新を実践していきます。

●今後、予想される人口の減少や厳しい財政状況を踏まえ、サービス水準の維持・向上を目指します。

2. 緑の村運営事業（法非適用企業）

①施設状況

施設配置の状況



①吉無田高原緑の村

施設概要

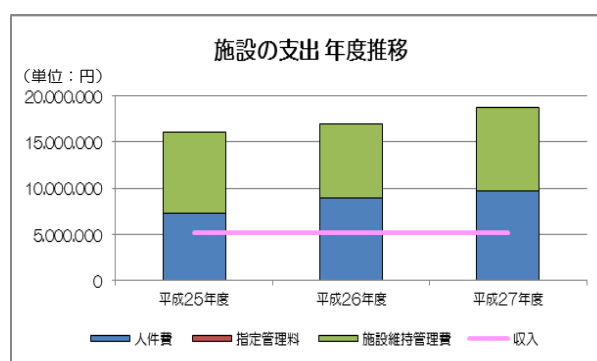
連番	施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数
1	吉無田高原緑の村	炊飯棟	18.00	昭和 56	35
2	吉無田高原緑の村	活用センター	339.00	昭和 56	35
3	吉無田高原緑の村	倉庫	12.00	昭和 56	35
4	吉無田高原緑の村	便所	45.00	昭和 56	35
5	吉無田高原緑の村	身障者便所	48.00	平成 13	15
6	吉無田高原緑の村	バンガロー 1	11.04	昭和 56	35
7	吉無田高原緑の村	バンガロー 2	11.04	昭和 56	35
8	吉無田高原緑の村	バンガロー 3	11.04	昭和 56	35
9	吉無田高原緑の村	バンガロー 4	11.04	昭和 56	35
10	吉無田高原緑の村	バンガロー 5	11.04	昭和 56	35
11	吉無田高原緑の村	バンガロー 6	11.04	昭和 56	35
12	吉無田高原緑の村	バンガロー 7	11.04	昭和 56	35
13	吉無田高原緑の村	バンガロー 8	11.04	昭和 56	35
14	吉無田高原緑の村	バンガロー 9	11.04	昭和 56	35
15	吉無田高原緑の村	バンガロー 10	11.04	昭和 56	35
16	吉無田高原緑の村	料金徴収所	17.64	不明	-
17	吉無田高原緑の村	運動場横便所	10.58	不明	-
合計			600.62		

コストと収入の状況

《吉無田高原緑の村》

(単位：円)

コスト分類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人件費	7,233,478	8,958,868	9,675,430
指定管理料	0	0	0
施設維持管理費	8,805,084	8,054,079	9,130,998
支出合計	16,038,562	17,012,947	18,806,428
収入	5,219,090	5,147,010	5,195,860



②施設の基本方針

吉無田高原緑の村は、町民の憩いの場及び町の観光スポット（レジャー施設）です。老朽化の進行及び平成28年熊本地震の影響を考慮し、今後は大規模な施設改修を検討し、更なる活用を図ります。また利用者ニーズを見極めながら、運営の検討と改善に努めます。

御船町 公共施設等総合管理計画

発行日：平成 29 年 3 月

発行者：御船町 総務課

〒861-3296 熊本県上益城郡御船町大字御船 995-1

TEL 096-282-1111 FAX 096-282-2803